新京日日新聞
夕刊
四月二日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓五十錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用（3）三二〇五 營業局專用（3）三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越內之介

米の大艦巨砲に對應 帝國も艦船整備

＝米國の聲明に對する我が見解＝

【東京國通】ハル國務長官は卅一日英佛兩國政府に對し第二次ロンドン條約のエスカレーター條項援用に關する通牒を行ひ主力艦三萬五千噸、十六吋制限撤廢に關する正式通告正文は一日公表さるべき旨報道され、こゝにワシントン海軍會議以來主力艦に加へられた一切の制限はワシントン海軍會議の招請國たる米國政府の發言により名實共に抛棄されるといふ極めて皮肉な運命に逢着した、軍縮こそ平和への道であると誇張された一九二一年の時代と、軍擴こそ平和維持の唯一の手段なりと斷定された一九三八年の時代との懸隔をこゝに痛感されるのであるが、右聲明に對して帝國政府筋では大體左の如き見解を洩らしてゐる

一、米國政府通牒の內容として傳へられる「日本政府がその建艦內容通牒を拒否した以上米國政府は日本政府が制限外主力艦建造の意あるものと見たゝめ第二次ロンドン條約の第廿五條を援用せざるを得ない」と述べてある箇所は帝國政府としては如何としても承服せざる處であり、建艦通報の義務なきものに對し通報を強要し之が通報なきを理由として日本政府が三萬五千噸以上の新主力艦を建造中なりと推定しこれを捉へて豫て狙つてゐる自國大軍擴推進の好機となし、責任を日本に轉嫁し來つたことは甚だ迷惑至極である

一、米國はそのめぐまれたる自國の國防上の事情よりして何等他國から脅威を受くべき事態なきに拘らず、その傳統的大艦巨砲主義を高揚して渡洋作戰の強化擴大に邁進する以上、帝國政府としても當然その國防の安全感を達成する上から相當程度の艦船の整備を進めざるを得ざるに至るであらう

再建艦計畫意向

【ワシントン一日發國通】米國海軍當局は一日エスカレーター條項援用後における米國再建艦計畫につき左の意向を洩した

米國海軍はエスカレーター條項援用後主力艦二隻を建造することにならうが、その噸數は四萬三千噸乃至四萬五千噸で備砲口徑は十六吋となららう、これ等二隻の主力艦は出來れば本年末までに起工したいが、龍骨据付までには數ケ月を要すべく、いよ〳〵就航するには五年後とならう

米國は軍備を充實 世界の政治問題に超然たれ

フーヴァー前大統領力說

【ニューヨーク三十一日發國通】前後二ケ月に亘り歐洲各國を視察して廿九日歸米した前大統領フーヴァー氏は三十日外交協會主催の晩餐會に臨み歐洲觀察談を試みたが、混沌たる世界の現狀に鑑み米國政府の採るべき最善の方策は中立政策と國防強化にある旨述べ左の如く演說した

歐洲各國は今や軍備充實に余念がない、この際米國として採るべき態度は世界の政治問題から超然獨立を保つと共に他國の戰爭に捲きこまれぬやうにする事即ち最善の手段として十分防備を整へておかねばならぬ、最近隣邦政策の名にかくれ世界の民主々義國を糾合して相互援助を爲し互に防衛政策をとらうとする提唱が目論まれてゐるが、かゝる政策は不當である、米國がもし英佛に加擔すればわれ〳〵は獨伊並にこの兩國に加擔する諸國を敵とする同盟に參加する結果とならう、英國にはその本國及び自治國に關する複雜な問題があり又各派各樣の政策をもつてゐるが苟も米國が英國に何等かの公約を與へるならばこれ等英國の政策にいや應なしに引づりこまれるわけである、又フランスも佛ソ相互援助及び條約は他の特殊の同盟關係と關聯をもつてゐるから英佛共同戰線に加擔すればスターリンを援助することにならう、若し世界に平和を保たしめるならばわれ等は人民戰線派の各國とも政府と同樣獨裁主義の各國とも提携を保つて行かねばならぬ

北中支政權合流の 王、梁歷史的會見

二日北京着四、五兩日協議

【北京二日發國通】維新臨時政府との政策統合ならびに合流に關する根本問題を商議する使命を帶びた維新政府行政院長梁鴻志氏等は三日飛行機で來京、四、五日に亘つて王克敏行政委員長など臨時政府首腦と會見を遂げることになつた、而して兩政府首腦者の間に行はれるこの歷史的會談の內容中最もその成行きを注目されてゐる合流形式方法について

一、臨時政府への合流といふ原則精神を生かすためには合併實現後維新政府現在の形態を解消するを適當とする

二、維新政府解消後の中支行政方針としては臨時政府の分身として江蘇、浙江、安徽三省を統合する有力な政務委員會を創設、三省の統治にあたらしめる

二、現在の維新政府首腦者は解消と共に臨時政府組織內に吸收するを妥當と認め

この方式のもとに臨時政府と特使との間に折衝を進めるものと思はれる

英の筋違ひ抗議に 逆に警告文手交

廿八日上海ブレナン路事件

【上海一日發國通】中支新政權が成立した去る廿八日ブレナン路において發生した新政府成立慶祝大行進の民衆デモと英國警備兵との衝突事件につき英國警備當局は同事件の**責任**は恰も日本にありと言はんばかりに廿九日附英國警備司令官スモーレット少將署名の正式書簡をもつて畑最高指揮官宛抗議を申込み、剩さへ日本軍の陳謝を要求し來つた、右の言分によれば、當時群衆中にあつた日本軍人が英國兵を侮辱したと言ふのであるが、わが軍において調査した結果によると同事件は直接的にも間接的にも軍の關知しないところであつて、英國側より抗議を受け或は陳謝を要求される如き根據は毛頭ない事が判明したので、直ちに一日午後軍司令部〇〇參謀が直接英國警備軍當局を訪問し、英國の的はずれの抗議に對し逆に日本軍としての警告文を手交した、警告文の概要は

英國警備軍側が假想的に且つ獨斷的に事件を斷じ唐突としてわが軍司令官宛て抗議を申込むに至つたことは常識ある英軍司令官の態度とも思はれない、日本軍としては抗議文を受理すべき筋合ではない、よつて再考せらるゝやう警告する

といふ頗る強硬なものであつて、軍としても今回の英國側の態度を頗る遺憾とし、事態を重視してゐるので英國側がわが**警告**に對し如何なる態度に出るか成行は注目すべきものがある、なほブレナン路における衝突事件は廿八日午後上海中山路大夏大學校庭において興亞黃道會主催のもとに民衆二萬數千が參加して行はれた新政府成立慶祝大會が終了し、歡喜の民衆が慶祝行進を開始しブレナン路に差しかゝつた際工部局員と英國警備兵によつて行進が阻止されたため發生した事件である、當時行進に參加してゐた大道政府關係の一日本人が行進を遮斷したのみならず五色旗を踏みにじつた英兵の不法なる態度に憤慨し英兵を詰問したところ、英兵は實彈を裝塡した銃劍をつきつけて該日本人を威嚇したので同人も自衞上已むなく拳銃を取出し對抗の態勢を示し、空氣は險惡化したが結局英國軍司令官スモーレット少將が調停に乘り出し血を見ずに鎮まつた、終始日本軍は關係してゐないにも拘らず英國側は當時矢表に立つた該日本人が英兵の**訊問**に對し「日本軍人だ」と答へたといふこと及び該日本人の態度が英兵を侮辱するものであるとの薄弱極まる理由をもつてしかも現在は大道政府關係者に過ぎない日本人の言動を楯にとつて仰々しくも軍司令官宛に抗議文をつきつけるに至つたもので英國側の輕率なる處置は中支の明朗化を妨げるものとして軍も諒解に苦しんでゐる

孫科の對英借款交涉 英財界一笑に附す

投資目的には對象物なし

【ロンドン一日發國通】國民政府の特使孫科は去る廿四日ロンドンに到着して以來ハリファックス外相、カドガン外務次官、リースロス財政顧問等と會見、日支紛爭における支那の立場を說明したが、卅一日さらに英蘭銀行總裁ノーマン氏を訪問、續いてサイモン藏相と會見して支那の幣制財政につき說明を行つた、以上の會見齟觸れからみて孫科特使は借款交涉を行つてゐるのではないかとの臆測を下し得るわけだが、ロンドン政界財界、新聞界のいづれにもかゝる觀測は行はれてゐない、事實當の孫科はロイテル記者と會見した際、借款は財政部長孔祥熙の分野だと言明してゐるくらひである、右につき財界方面では支那銀がすでに大半武器購入に使用されて現に借款の擔保なく、關稅擔保の五分利付公債が五十七ポンドに低落してゐる現在投資の目的で對支借款に應募することなど技術的にも考へられないと借款交涉說を一笑に附してゐる

わが空陸の猛攻で 台兒莊陣地殆ど陷落

徐州の支那軍周章狼狽

【濟南一日發國通】徐州防衞の最後的陣地台兒莊はわが軍の猛攻でその四分の三まで占領、陷落も**目前**に迫つてゐるが、これが陷落すれば徐州は最後的前衞陣地を失ひ直接わが猛攻にさらけ出される事になるので蔣介石は台兒莊保持は必死となり、廿七日以來中央軍の精鋭湯恩伯及び張治中軍の七、八箇師をしてわが台兒莊攻擊部隊の背後を衝く台兒莊東北方三、四里の地點に迫らしめたが、卅一日わが〇〇及び〇〇部隊は巧妙なる作戰をもつてこれを南北より挾擊し、猛擊を浴びせて痛烈なる殲滅戰を開始した、敵の大軍は不意を衝かれて早くも周章狼狽、一部は東方及び東南に敗走しはじめてゐるわが軍はなほも空陸呼應して攻擊を集中、敵に猛爆猛擊を浴びせこれを大混亂に陷れた

また台兒莊西方に敗走の敵を猛追した〇〇部隊は卅一日午後台兒莊西方八キロ大運河々畔の范口及び**頓莊**を占領、敵は多數の死體を遺棄して西北及び西南方に潰走した

郎坊附近で

共匪八百を包圍殲滅中

【北京一日發國通】北寧鐵路沿線郎坊から西南五里の地點にある永淸縣宣撫班は三十一日朝來同地南甕において研沽共産匪約八百のため包圍攻擊を受け永淸縣警察隊四百名を督戰してこれと交戰中との急報があつた、郎坊駐屯の中沼部隊は三十一日直ちに同地に出動、之を包圍殲滅中である

上海に中銀辦事處を設置

國府爲替破綻糊塗に汲々

【上海一日發國通】國民政府は今次の爲替政策變更に伴ふ混亂を糊塗すべくしば〳〵樂觀的見解を發表してゐるが、外人側の要求たる中央銀行上海辦事處設置問題について卅一日漢口財政部スポークスマンは左の如き談話を發表した

新政策に基く爲替操作を敏活に行ふ手段については目下考究中で、近い將來上海に中央銀行辦事處を設置することになるかも知れない、しかして中央銀行の政策如何は市場の外貨に對する從來の經驗と現在の情勢を考慮して割當を決定してゐるのであつて、第一回及び第二回の上海に對する爲替割當は本年一、二兩月における上海の入超尻を遙かに突破するものである

兩院書記官長更迭

【東京國通】政府は長く貴族院、田口衆議院兩書記官長の勅選に伴ふ後任として貴族院書記官瀨古保次氏を貴族院書記官長に、衆議院書記官大木操氏を衆議院書記官長にそれ〳〵任命することになつた

人事往來

着京

▲松平正雄氏（鹽水港製糖）二日來京國都ホテル
▲田中藤一郎氏（會社員）同
▲貝瀨謹吾氏（滿洲技術協會長）一日來京ヤマトホテル
▲杉田三郎氏（實業）同
▲淺沼謙二氏（同）同
▲高橋岩太郎氏（煤鐵公司）同
▲日高長次郎氏（同）同
▲上野己always次氏（三菱商事）同國都ホテル
▲岩崎辰巳氏（滿洲航空）同
▲山上欽三氏（朝鮮ビール）同
▲井川輔造氏（會社員）同
▲富澤三平氏（大倉商事）同滿蒙ホテル
▲齋藤寅吉氏（興銀）同
▲池田五郎氏（日滿パルプ）同
▲太田長四郎氏（官吏）同國際ホテル
▲林鷹一氏（同）同
▲大隅正明氏（同）同
▲內田善之助氏（同）同
▲安藤康生氏（同）同
▲柳谷寅次郎氏（木材商）同向陽ホテル
▲牟田吉之助氏（同）同
▲溝口光忠氏（第一生命）同
▲金子數一氏（同）同
▲大井鶴一氏（同）同
▲小笠公詔氏（官吏）同中央ホテル
▲今井謙太郎氏（同）同
▲瀨戶勝治氏（會社員）同
▲土井經夫氏（同）同
▲山下喜一郎氏（土建業）同都ホテル
▲中村順一氏（會社員）同
▲齋藤庄三氏（淺野物產）同
▲中島義明氏（會社員）同蓬萊ホテル
▲田邊秀雄氏（官吏）同大都ホテル

出發

▲山田覺氏 一日延吉へ
▲南治之助氏 大連へ
▲櫻澤千藏氏 東京へ
▲齋藤寶吉氏 哈市へ
▲都築市三氏 奉天へ
▲星野義善氏 哈市へ
▲中村濤氏 東京へ
▲庄司積氏 大連へ
▲橋上一秀氏 咸北へ
▲江川信三氏 撫順へ
▲松村隆祐氏 奉天へ

その日〳〵

□ 迷彩施して六全大會、しかし末期的症狀は到底隱すことが出來ぬ

□ どうぞ獨裁でと言へば、いや責任轉嫁機關は要ると言ふからくり大名支那に在り

□ 米の大艦巨砲主義還元に帝國政府また艦船整備に迫らる軍擴の責は一に彼に

□ 英國またも筋違ひの抗議、三百代言でもなし得ざる根據に基いて……

□ あす神武天皇祭を卜し第二回全新京武道大會開く、御東征の昔偲びて

畏し 兩陛下行幸啓 親しく英靈御親拜
靖國神社大祭式典次第決定

【東京國通】護國の英靈を永久に神鎭め參らせる靖國神社臨時大祭は先程勅許を仰いで陸海軍省告示をもつて發表された如く若葉薫る四月廿四日から廿八日まで嚴かに執り行はれることゝなり、大祭委員長大角大將以下陸海軍省祭典委員はその準備を急いでゐたが愈々祭典の式次第が決定一日夕發表された、それによれば廿四日は午後七時から櫻若葉の蔭濃い夜空の下に大篝火森嚴に燃ゆる庭で嚴粛なる招魂の儀が行はれ、二十五日から二十七日までは臨時大祭、二十八日直會の儀をもつて終り續いて三十日は春季例大祭が執り行はれる、洩れ承るところによれば臨時大祭の第一日廿五日と例大祭には勅使を御差遣あらせられるほか廿六日には畏くも天皇、皇后兩陛下行幸啓遊ばされ親しく忠勇の英靈に御親拜ならびに御拜遊ばされる御由で大御心の深さに陸海軍當局は勿論戰歿勇士の遺家族等は感泣し奉つてゐる

本社主催 決戰あすに迫り 大會氣分最高潮
午前九時・八島小學校講堂に 豪華展く武道戰繪卷

本社主催第二回全新京武道大會は愈よ明三日午前九時より八島小學校に於て火蓋の幕が切つて落される、時局を反映して出場チーム六十組の多數に上りハリキル各選手は滿を持して何れも大會の覇を期してゐる、回を重ねること二回在京各機關よりの絶大なる聲援は本社武道係に殺到し、本社謹製の大優勝旗は星野總務長官盃、武道大會盃、平島新京支社長盃及び井上刀劍店寄贈の優勝刀、河又運動具店の柔道着等は大會の氣分を彌が上にも昂揚し盛會が豫想される、なほ優勝團體には前記各寄贈品を贈られるほか參加出場の各選手には東條參謀長筆による記念タオルが送られることになつてゐるが優勝團體に優勝旗、劍道優勝團體の各個人には星野總務長官盃、柔道優勝團體各個人には平島支社長盃が授與され劍道個人優勝者には日本刀、柔道個人優勝者には柔道着が授與される

日滿支三國の修好史を映畫化
大國策篇 弘報處で企畫

國務院總務廳弘報處が主體となつて日滿支三國の修好史を映畫につくらうとする計畫が進められてゐる、これは全篇を三部に分ち先づ古代篇から製作する、すなはち日本よりの數次の遣唐使の派遣當時行はれた通商や文化交流の事實等を主内容とする筈で、全篇を通じて古代より日滿支三國間には密接な關係があり現在の如き日滿支三國ブロック結成の機運に到達したのにも古來より歴史的必然性が存したものであることを明らかにせんとするもので日本の映畫會社、滿映、新民映畫等協力によつて實現せしめる意向である、三國を連ねる大國策映畫—その企圖だけは注目すべきものであらう

躍進滿洲展 第一回打合會

弘報處では協和會と相諮り宣詔記念日を意義あらしめ滿洲國行政を浸透せしめるため「躍進滿洲」展覽會を開催することゝなり二日午前十時より國務院會議室に於て之が第一回打合會を開き弘報處側より堀内處長以下各事務官、協和會より武藤宣傳科長等列席し各特殊會社への贊助方法を協議した

武藤能婦子夫人 忠靈塔參拜

一日夜來京した大日本國防婦人會長武藤能婦子夫人は舊知の婦人達と深更まで想ひ出話に時を過し國都第一夜を明かして二日朝國都を久振りに見る喜びに滿ちて宿舍日滿軍人會館を出て關東軍司令部を訪問、軍司令官を始め關係者に挨拶をしてそれより春暖の市内を忠靈塔から各戰蹟をめぐりありし滿洲事變に奮戰赤い夕陽の下曠原の華と散つた數多勇士の靈を弔つた【寫眞は忠靈塔參拜】

お互に集會時刻を堅く守りませう
時間勵行の叫びあがる

近頃また新京人士の時の觀念が薄らいで來た、昔長春時代ののんびりした頃はこれを長春時間と稱して集會や宴會の開かれるのが卅分や一時間遲れても微苦笑くらひですんだものだが今はなかなか笑つてすまされなくなつた、定刻を遲れること十分や十五分は我慢出來るが卅分、一時間と遲れると迷惑するのが多い、恐らく公の會合に集る人々殊に忙しい人々は何時から何時迄と時間割を作つて次々と責務を果してゐるのだからそれが狂つたら影響するところが決して尠くない、何とかならないものだらうかと時刻嚴守の聲が到るところに起りつゝあるがこれは國都紳士の面目にかけても是正したくてはならぬ事だらう方法は至極簡單だ定刻が來たらどしどし開會なり閉會することだ、兩三回これを斷行したら遲刻者のあとを斷つに至るであらう

滿鐵創業記念 表彰者氏名

滿鐵では四月一日會社創業記念日にあたり勤續社員の表彰を行ひ二十五年勤續者には日本刀一口、十五年勤續者には銀杯一組を授與した、新京關係者氏名は左の如くである
▲二十五年勤續者 新京醫院長塚本良禎、新京檢車區職員藤瀨梅吉
▲十五年勤續者 南新京驛職員飯高善藏、新京驛職員原田藤太郎、同石井否一、同岡部長治、同吉本國治、同橋口爲次郎、新京機關區職員秋山勝、同水野育平、新京檢車區職員包梅伊之吉、同福中惣一、新京工事事務所職員渡邊周平、同長田泰次郎、新京工務區職員高雄信吉【寫眞は塚本良禎氏】

けふから一年生
新入學兒童一千四百五十名 仲良く一齊入學式

今年から學校へ上る嬉しさで一杯の可愛い坊ちやん孃ちやんの入學式は二日午前十時より市内室町、西廣場、白菊、八島、櫻木、三笠、順天の各校一齊に擧行、新しい學用品を身につけお父さんお母さんに連れられて初めてくゞる校門も嬉しく、これから一年間教へて貰ふ先生を先頭に式場へ參列、今日から兄さん姉さんとなるたくさんの上級生と仲良く列んで校長先生のお話を聞き、式が濟んでから教室へ入つて自分の坐る席を教へて貰ふ、やがて各校順次に新京神社へ參拜、勸學式をあげ修身の教科書を貰つて歸途についた、此の日新しい出發をした新入學兒童總數は全市で一千四百五十名であつた【寫眞は入學式】

故鄭孝胥氏國葬委員幹事會

故鄭氏國葬委員會第二回幹事會は四日午後二時より國務院に於て開かれるが一日の幹事會に引續き國葬日取、費用埋骨地等を協議することになつてゐる

濱江省治安工作に 十六旅團武勳
關東軍、治安部から表彰

三江省の治安工作は日滿軍警必死の討伐により着々と成果を擧げてゐるが討匪出動中の滿軍混成十六旅團が濱江省東部地區の治安工作に華々しい戰果をあげ關東軍司令官及び治安部大臣より表彰された、即ち滿軍混成十六旅團は昨年十二月上旬以來約二ケ月間に亘り濱東一帶に跋扈する匪首關師長呂紹才以下八百の匪を討伐したが本年二月上旬鄧少將第二次討伐を企圖し老爺嶺の西部山麓一帶に進出して、ここに蟠居する匪首江省以下七百餘名が糧食缺乏せるを知り二月下旬一切に砲擊を開始し餓死及び凍死するもの續出し遂に殆ど投降し鹵獲武器三百廿八、拳銃九二、輕機關銃五、重機關銃一及び彈藥二萬餘發に及び滿軍に一名の死者をも出さなかつた、この赫々たる武勳に于治安部大臣は該十六旅團を表彰、植田軍司令官は金一封を送つてその勞を犒つた

掏摸二人組捕る

去る三月五日午後二時頃日本橋通郵政局窓口に於て朝日通二五大陸公司宮本三好氏の懷中から三十圓と四圓の小爲替二枚を掏り同月七日右爲替を富士町郵政局に於て被害者代理人王仁義と稱して引出し逃走した掏摸犯人に關しては以來所轄中央通警察署で鋭意嚴探中であつたが、一日午後零時頃富士町郵政局に現れた二人の支那人が奉天に於て振出した小爲替二十圓を引出さんとしたのを局員が怪しみ中央通署に通報したので同署の平隈兩刑事が急行取押へ、嚴重取調べの結果右は山東省生れ住所不定無職王仁義(一九)濱江省生れ住所不定金一成(一六)で主犯王は五年前より南滿一帶の郵政局或は百貨店を根城に現金、爲替及郵便貯金の掏摸を働き贅澤三昧の生活をしてゐたもので其の間一度も警察から捕つたこともなく被害は數千圓に上る稀代の大物と見られ嚴重追及中であるが、尚共犯金は昨年暮れから王の部下となつて手先に使はれたもので兩名は一日奉天より來京祝町四丁目景州旅舍に洋服商となりすまして投宿その足で富士町郵政局に至り惡運つきて逮捕されたが押收した所持品はいづれも高價なもので豪奢な生活を物語り係員を啞然とせしめた程である

非文化病トラホーム 徹底的撲滅へ
市、積極的に乘出す

特別市公署では日本内地で僅か一%しかないのに滿洲國人では約五十%の罹患率を示してゐる所謂非文化病トラホームの徹底的撲滅に全滿に率先積極的に乘り出すこととなつた、衞生處ではこれが對處策として左の如き三段構への具體案を決定した

一、大經路、自彊、文廟、長通路各學校にトラホームの治療室を設け校醫二名(二校に一名の割)を囑託外に看護婦四名を專屬する
二、如何に學校に於てトラホーム撲滅策を講じても各滿洲國人家庭を放任するに於てはものにならぬので特別市立施醫院内に眼科の專門醫を招きこれが治療に當らしめる
三、尚ほ各學校に左の如き衞生習慣十訓を掲げる外學童トラホーム豫防心得を全兒童に配布し衞生思想を普及徹底せしめこれが撲滅に努める

▽衞生習慣十訓
一、任意に痰を吐く事、隨所に大小便をする事、手鼻をかむ事等の惡習を改むる事
二、朝は早く起き晩は早く眠る事
三、咳、噴嚔をする時はハンカチーフで口、鼻を掩ふ事
四、傳染病患者と接近せざる事
五、坐せる時、歩く時を問はず常に姿勢を正しくする事
六、食事の前、大小便の後に必ず手を洗ふ事
七、常に指の爪を切り頭と顏を洗ふ事
八、一週間に一、二回入浴の事
九、毎日必ず齒を磨く事
十、襯衣を常に洗濯の事

協和會長春縣 聯合協議會

協和會長春縣本部では四月七、八、九の三日間に亘り午前九時より金融合作社聯合會階上(内務局隣)に於て康德五年度長春縣聯合協議會を開催することとなつた

防共アドバルーン 國境都市に掲揚

協和會ではアドバルーンをもつて防共思想の普及徹底を圖ることとなつた、協和會は最初の試みとして近く防共の文字を書き込んだ大アドバルーンを國境の町黒河の空高く掲揚し黒河市内は勿論附近のソ聯國境からも眺望出來る樣にしてこれが反響を見樣といふ譯で絶えずソ聯の不法行爲に依つて脅かされてゐる國境住民の安定に非常な効果が期待されて居り成績次第に依つては更に滿洲國、ポグラニチナヤ等の國境地帶にもこれと同樣の試みが行はれる筈である

北支要人視察團 今夕來京

日本觀光局主催北支要人日本視察團十名は二日午後六時二十分の列車で來京大和ホテルに投宿、三日午前忠靈塔參拜關東軍、滿洲國關係機關に挨拶をなし午後二時十分京城に向け出發の豫定である

武部前總長離京

元關東局總長武部六藏氏は九日午前十時發列車で離京豫定

滿人訪日視察團

奉天鐵道局、ツーリスト・ビューロー共同主催滿人訪日視察團新京第三班一行卅二名は二日午前十時新京驛發はとで滿洲國旗を飜して勇躍出發朝鮮經由一路內地へと向つた、又滿洲國專賣總署職員訪日團一行十名も同列車で出發した

電々三氏挨拶

新任電々總務部長代理瀨田常男、同人事課長小田正治、同主計課長小澤俊康の三氏は挨拶のため二日來社した

日本基督教會

一、日曜學校 午前九時
一、聖書學校 午前九時四十分
一、朝の禮拜 午前十時四十分 說教「偉大なる節批」 石川牧師
一、夕拜 午後八時 說教「改革と信仰」 石川牧師

日の出を拜する集ひ（三日神武天皇祭）

日の出時刻六時十九分、西公園誠忠碑前にて市民早起會行事、忠靈塔參拜

あす（三日）

▲神武天皇祭
▲本社主催全新京第二回武道大會、午前九時、八島小學校
▲滿洲國防婦人會發會式、午後一時、西公園野球場
▲飛行協會練習機命名始業式午前十時、南飛行場
▲志願兵制祝賀宴、午前十一時、協和會朝鮮人分會
▲五九郎劇公演、西廣場倶樂部

今晩の主なる演藝放送

▲七・三〇國民歌謠（東京）永田絃次郎▲八・三〇童謠組曲「一年生行進曲」（大阪）▲八・五〇家庭コント「子供の夢」（東京）近松里子外

正誤

本紙四月一日朝刊一面掲載滿洲電線株式會社開業廣告中「出資社日本電線株式會社」とあるは「日本電線株式會社」の誤植に付訂正す

映画と演藝

“人生劇場”けふから朝日座

朝日座一日よりの番組は日活東京「人生劇場」新興京都「おつる巡禮歌」の二番線二本立である

▽日活東京「人生劇場」尾崎士郎が都新聞に連載した長篇小説を内田吐夢が監督した、一人息子の成長を生きる樂しみとしてゐる父瓢太郎、強く逞しく育てられる子瓢吉の人生劇場への新しい出發、小杉勇が父子二役に主演して名作と言はれたもの、今後篇を片岡千惠藏が初の現代物出演として製作されてゐる時に當つて再び當時の感激を味はうこともいゝだらう、山本禮三郎、吉谷久雄、黒田記代、村田知榮子助演

▽新興京都「おつる巡禮歌」原案脚色依田義賢、監督押本七之輔、阿波の鳴門の悲劇の新解釋、大谷日出男、鈴木澄子、日高照子主演

沼波、三枝監督の新興作品

新興東京監督陣擴充强化の爲大船清水監督門下から迎へられた沼波功雄、三枝信太郎兩氏の第一回作品は各々重大なるスタートだけに愼重に協議を重ねた結果、目下新興が振りかざしてゐる〃大作强打主義〃の精神の下に左の如く各々問題の大作にガッチリ取組んでこゝに華々しい第一聲を上げることゝなつた

▽沼波功雄作品　全篇『牡丹くづるゝ時』主演淡島みどり（原作小島政二郎、脚色陶山密）

▽三枝信太郎作品　『からゆき軍歌』主演志賀曉子（原作山岡莊八、脚色村上德三郎）

れなかつた短篇を獨立した呼物映畫にしあげやうとそれぞれ計劃準備を進めてゐる

ニュース映畫の後に來るもの　優秀短篇

支那事變勃發と同時にニュース映畫は俄然映畫界の寵兒となり更にニュース映畫館が續出して十錢、廿錢の入場料で劇場映畫封切館と互角以上の好成績を擧げ「ニュース映畫華やかなりし頃」を現出したもので、此ニュース映畫も本年に入つて凋落の運命を辿りニュース映畫館の中には相次いで他に轉向するものが現れてゐるが、各社ともこれが對策を練つてゐるが、先づニュースに代るものとして各方面から最も要望されてゐるのは有意義な短篇映畫で優秀な作品ならば短篇と雖も立派な興行價値を發揮する事が出來ると云ふ見透しもついたので、今後の各社は一層短篇映畫製作に力を注ぎ從來とかく添物以上に出

妻三郎・寛壽郎の新作決定

大作「忠臣藏」を完成した日活京都では新プランとして千惠藏の現代劇初出演で「人生劇場」殘俠篇を發表するが、引續き妻三郎と寛壽郎の新作品を左の如く決定、四月早々着手する

▽「忠治子守唄」比佐芳武シナリオ、マキノ正博監督、阪東妻三郎、市川春代主演

▽「太閤出世譚」山上伊太郎シナリオ、稻垣浩監督、嵐寛壽郎主演

▽▽人情紙風船△△

東寶前進座作品、東寶における山中貞雄の第一回作品、三村伸太郎のシナリオを得て前進座一黨が出演する、お江戸の汚い長屋を背景に、失業してゐる武士夫婦、その界隈を押へてゐる親分とその一黨、この親分に楯を突くないす者、その他長屋連中を登場せしめて描く一つの世相繪圖、山中的な類型さが些か氣になるし、作品としての深さの點で非難を免れていが、例によつて巧緻な美しい表現が見られる、昨年中の東寶作品としては佳作と稱しなべきであつた、豐樂劇場四日より再上映

サボテン

扇芳會館のヴエラちやんことみち子さんと岩井照子さん春と共に張切つてホール一杯に飛廻つてゐますが、先日お揃ひで大同大街をしやなりしと御散歩でした▼それから二人で大枚六十錢拂つて豐樂劇場に入り「江戸ッ子健ちやん」の瀨戸屋のオヤジになつたエノケンの演技を見て大笑ひしてゐました▼オカッパの坂本鈴枝さん、少女みたいにあどけなく白の支那服着てストッキングを着用せず魅惑的な素足でピッタリと氣の合つたポーズで踊るところまわりの者茫然とアテられるです彼女をめぐる數々のパートナーの筆頭をカーさんとぞいふ▼聞くところによればカーさんの會社では近日女の子から電話がかゝつたり、こちらからかけたりする時には罰金を取ることになつたといひますと、さうなると先づカーさんが何と言つても多額納税者ですな

總音

朝日座の「人生劇場」一何回目かの登場だがなほ魅力のあるところ、續篇「殘俠篇」の宣傳まで兼ねて仲々の貫祿ぶりである▼最近の如く封切ものに粗製作品の氾濫してゐる時寧ろこのやうな大作の再登場の方に注意が向けられる、どこもかしこも三時間興行をはき違へて考へてゐる樣子、おかげで迷惑蒙つてゐるのはファンばかり、多くは望まないがたまにはコクのある寫眞を見せて欲しいもの、昨年、一昨年の寫眞の方が多く喜ばれてゐるやうではなさけない▼だからたつた一つの立ものに六つの常設館がアフられ氣味なのだ、來るもの〳〵皆んなが大入滿員、全部の原因が映畫にあるとは言はないが、作品低下が映畫の魅力を喪失せしめつゝあることは事實だ

日曜　舊四月三日　三月三日

乙丑　大安　鬪　戻宿　五　東京・本郷・神誠館

- ●一白の人　計畫は喰違ひ手の下し樣なき窮境に陷る日　乙と庚と癸が吉
- ●二黑の人　力の有るに任せて進めば跡に缺陷の殘る日　丁と辛と丑が吉
- ●三碧の人　難儀に遭遇しても狼狽せず愼重なれば安全　甲と乙と丙が吉
- ●四綠の人　八方に目を配りて緩々と進めば咎を免かる　甲と丁と癸が吉
- ●五黃の人　一擧に事を遂げんと思はず漸進すれば安全　庚と丑と寅が吉
- ●六白の人　信用と尊敬とは益加はりて向上榮達する日　辛と壬と丑が吉
- ●七赤の人　安心に過ぐれば後悔することあり爭論注意　庚と辛と壬が吉
- ●八白の人　怒氣を發せず溫和を旨とすべし又病厄注意　辛と丑と寅が吉
- ●九紫の人　熱情に驅られ引込みのつかぬ事あるべし　乙と丁と丑が吉

月曜　舊四月四日　三月四日

丙寅　赤口　閉　心宿　六　東京・本郷・神誠館

- ●一白の人　目上識者の意見を尊重するが尤も安全の日　辛と東と坤が吉
- ●二黑の人　意地を張り過ぎる時は不爲を釀すことあり　艮と西と辛が吉
- ●三碧の人　向ふ見ずに進む氣の生ずる日蹉跌する勿れ　南と丙と乙が吉
- ●四綠の人　利益を度外視して迄も突進して悔ひある日　南と坤と壬が吉
- ●五黃の人　氣移りのせぬやう從來の業を愼直に勵べし　艮と北と西が吉
- ●六白の人　小人の言を妄信するときは不測の災を招く　西と壬と丙が吉
- ●七赤の人　活氣滿ち和合もありて十分に立働かれる日　西と北と丙が吉
- ●八白の人　出ること多けれど入ことは更に大なるべし　丙と北と艮が吉
- ●九紫の人　意に滿たざることは胸に疊んで置くが安全　東と西と北が吉

飼料輸出組合の結成 當局は反對意向

一元的機構に統一が必要

日本における飼料配給會社の設立による飼料配給統制計畫及びこれに附隨した滿洲よりの飼料輸入計畫に對應して滿洲において飼料輸出組合を結成すべく關東州及び滿洲國内の飼料原穀業者は過般大連に會合して組合結成に關する協議を行ひ、近くその具體案を當局へ提出することゝなつてゐるが、これに關し政府當局としては

飼料となるべき包米及び高粱は農民の食料としてゐるものであるから相當の價格をもつて買上げなければ集荷困難である、且つ日滿農村共榮の立場から滿洲における集荷に當つてはなるべく滿洲農民の手取りを多くし、日本における配給に當つてはなるべく安く賣付けるやうにしなければならぬ從つて滿洲國における配給に關しても政府の統制下に一元的な機構に統一する必要がある

との意向を有してゐるので恐らく輸出組合結成に對しては不許可の態度を採るものと豫想される、しかして右の如く一元的機構に統制された場合既存の飼料業者から職を奪ふものではないかとの危惧が當然生ずる譯であるが、これについて政府の意向は左の如きものと解される

三井、三菱、日清、瓜谷その他關東州の飼料原穀業者の大物は内地において輸入業を營んでゐる關係上今回内地に設立される飼料統制會社の株を讓渡されて居り内地においても同會社から飼料の配給を受けて販賣に當る、右を除く業者即ち純粹の輸出業者は從來の事業甚だ僅少であるとしてゐる上に飼料輸出を事業としてゐるものでなく飼料輸出事業を失つたとて大した打撃を被るものではない

關東州でも特別税令公布

内地に呼應四月一日から

日本内地における支那事變に伴ふ臨時増税に鑑み外地においても夫々右に順應して國民としての國費負擔をなすべきであるとの見地から關東局では關東州内における臨時増税の實施について準備を進めてゐたが此の程法的その他諸般の準備を了したので各適用税令を公布し四月一日より之を實施した、右に關し關東局では次の如く増税の概要を發表した

一、支那事變特別税令

イ、所得税　第一種所得税に付ては大體一割六分程度の増徴を行ふが超過所得に付ては一割の増徴に止めることゝし、又一面において所得税、臨時利得税等増税の結果特別の場合において法人の負擔が過重となることがあるので、その所得税及び臨時利得税につき一定限度を劃してそれ以上増徴しないことゝしこれを緩和する途を拓いた

第二種所得税についても第一種、第三種との釣合上原則として一割六分の増徴を行ふこととなつたが、これについては國債の消化及び産業資金の疏通等の觀點から一律に増徴することを避け、先づ低利な國債の利子について増徴を見合せ低利なる地方債、社債、銀行預金利子については輕微なる増徴を行ふことに止めたに反し、過去の資金に對しては原則通りの増徴をなす建前となつてゐる

第三種は國民税ともいふべきものであり今回の増税趣旨は廣く銃後の國民において負擔するのであるから課税の最低限を千二百圓に引下げることゝし從來から課せられてゐる者に對してはその税額の七分五厘を増徴することとした

ロ、臨時利得税　本税は先づ北支事變特別税法による臨時利得特別税を本税に織込む程度の増徴を前提とし、更に支那事變の影響により事業利益の増大しつゝある者は比較的擔税力あるものとして臨時利得税の外に新に昭和九、十、十一年を基準年度とし平均利益の最低割を一割とし別の計算方法による利得税を課する事とした

ハ、利益配當税　利益配當税ならびに公債および社債利子税は從來の北支事件特別税における利益配當特別税ならびに公債および社債利子特別税と同樣の課税を引續き行ふことゝした

ニ、通行税、入場税　新に汽車、電車、乘合自動車および汽船の乘客に對し等級および距離に應じ一定の定額税率をもつて課税するもので五十粁未滿の短距離三等乘客に對しては課税せざることゝした

税率は最低三等乘客五十粁以上のもの二錢より最高一等乘客八百粁以上のもの二圓四十錢に至る迄とした

入場税に付ては劇場、活動寫眞館、野球場、競馬場、舞踏場、ゴルフ場等の入場者に對して其の入場料金の百分の十の税率を以て課税することゝし又學生、生徒等アマチュアの運動競技を觀覧する爲入場する者に對し特別入場税（税率は入場税に同じ）を課することとした

ホ、物品税　物品税に付ては北支事件特別税法に於ける物品特別税に比して其の課税範圍を擴張し從來の課税品目の外に比較的擔税力ありと認めらるる方面の消費する物品に課税を及ぼすことゝし税率は從來に比し引下ぐることゝしたが新に酒類及び燐寸に對しても其の課税を及ぼし酒類に付ては移出石數に應じ其の種類に從ひ一石に付一圓乃至三圓五十錢、燐寸に付ては千本に付四錢の課税をなすことゝなつた

二、法人資本税　法人の租税負擔力は必ずしも所得の大小又は資本に對する所得割合によつてのみ制定することは出來ないので今回この點を補ふため新たに資本に對し萬分の二の税率をもつて課税することゝした

三、地租令　地租については從來の田畑畝數一律課税を廢止し課税標準を地價に改むると共に新たに宅地、雜種地に對しても課税することゝした

四、支那事變費の一部に充つるため臨時増税をなすことゝなつたのであるが、これと併行して負擔輕減等の臨時的措置を講ずることゝなつてゐる、即ち支那事變により田畑の收益を減少したり又は不振に陷りつゝある自作農者とか營業不振に陷りつゝある中小商工業者の租税負擔を或る程度輕減することゝしそれぞれ地租又は營業税を二割乃至五割程度輕減することゝした、之等の増税に依り大體平年度に於て所得税百三萬六千圓、臨時利得税十九萬九千圓、法人資本税四十七萬八千圓、利益配當税及社債利子税千圓、公債利子税三萬五千圓、通行税（特別入場税を含む）八萬圓、物品税五十萬二千圓、地租四十二萬七千圓の増税となる見込みである

最後に第三種所得税の如きは昨年はじめて施行された關係上納税者の半額を増收したにすぎなかつたので、たゞさへ負擔の増加を來すにさらにこの際増税を行ふことは州民にとつて苦痛であることは當局においても充分承知してゐるところではあるが、現在時局に鑑み今回の増税のやむを得ざることを充分御諒解せられ當局においてもその施行に當つて充分の注意を拂つて圓滑なる執行を期したいと考へてゐる

商況欄　二日前場

海外經濟電報

倫敦金塊　七磅〇志〇片二分一
紐育金塊　三五弗〇〇〇
倫敦銀塊　一九片八〇〇
同先限　一八片八分五
紐育銀塊　四二仙四分三
孟買銀塊　四八留比八分五

▲紐育株式
スチール株　四一弗四分一
アナゴンダ株　二三弗八分七

▲市俄古小麥
五月限　八五仙四分三
七月限　八一仙四分三
九月限　八一仙八分三

▲紐育棉花
現物　八仙六三
五月限　八仙五七
七月限　八仙六三
十月限　八仙七一
十二月限　八仙七二
一月限　八仙七四
三月限　八仙七八

▲印棉
ブローチ　一六三留比二分一
オームラ　一四七留比八分三
ベンゴール　一三六留比二分一

カルカッタ麻袋
青筋　二二留比四分三
鐵筋　二〇留比六分七

▲外國爲替
米英爲替　四弗九六仙六分七
米日爲替　二八弗九五仙
米支爲替　二五弗八五仙
英日爲替　一志二片〇〇〇
英支爲替　一志〇片四分三

各地株式市況

▲滿洲中銀爲替
英佛爲替　一六一法郎六[illegible]
印日爲替　七七留比二分一

▲阪神爲替
紐育向　二八弗一六分五
倫敦向　一志二片一〇〇
對米賣　二八弗三分二
對米買　[illegible]
對英賣　一志二片〇〇〇
對英買　[illegible]

▲東京株式（短期）

	寄付	大引
東新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
新鐘	[illegible]	[illegible]

▲大阪株式（短期）

	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
新鐵	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]

▲大連株式（短期）

	寄付	大引
東新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
日清	[illegible]	[illegible]
品取	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲大阪期米

	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
中限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲横濱生糸

	寄付	大引
現物	六八七	[illegible]
當限	六八一	[illegible]
先限	六九〇	[illegible]

▲大阪綿糸

	寄付	大引
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]
九月限	[illegible]	[illegible]
十月限	[illegible]	[illegible]

▲大阪棉花

	寄付	大引
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

▲大阪人絹

	寄付	大引
當限	七四〇〇	七七六〇
先限	七七四〇	[illegible]

各地特産市況

▲新京

	寄付	引	出來高
現物 大豆	―	―	―
高粱	―	―	―
小豆	四、四八	―	一車
玉蜀黍	―	―	―
先物 大豆 四月限	[illegible]	六八	[illegible]
五月限	―	―	―
高粱 四月限	―	―	―
五月限	―	―	―

▲大連

	寄付	大引
豆 袋入	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]
八月限	―	―
三等豆	―	―
粕 現物	[illegible]	[illegible]
四月限	―	―
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	―	―
七月限	―	―
八月限	―	―
油 現物	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]
七月限	―	―
八月限	―	―

青春の宿（上演上映）

須藤鐘一作　柴谷宰二郎畫

（一七一）

愛憎二筋道（六）

讓治の手紙の中に

――お前から、お前の娘を奪つたのだ。暴力を以てしてではない。それはお前の娘の意志からである。幸子は、僕に誘拐されたことを喜んでゐるのだぞ。そして、父であるお前を、僕と同樣に憎んでゐるのだ。

と書いてある――その文意が岡見の娘に對する愛情をけしてしまつたのである。

――娘のくせに、俺を、父を、憎むやうなものは……娘ではない。全財産をなげだして娘をとり返すよりは財産を守つてゐた方がよい財産は、金は、俺が、どんなに世間の憎みをうけても、俺を嫌つたり憎んだりはしない。

――だから、俺は……金のほかには、信用しないといふのだ。

さういふ氣持でゐたのである。

――全財産をなげださねば、お前の命はない、命が大切か財産が大切か、よく考へて見て、とくと思ふ方法をとれ、娘の命よりも財産の方が大切だといふ貴樣も、よも、自分の命よりも財産の方が大切だといふまいが……明日の夕刊の出る迄待つ。

第二の勸告文？は、こんな意味のものであつた。

岡見はそれに對しても應ずる氣持にはならなかつた。

――命をとれるならとつて見よ、命は、法律が守つてくれる。

こんどは、それを燒きすてゝしまふことはせず、當局に提示して自分の保護をこうたのである。

夕刊が發行された。夜になつた……岡見の家の内外は、嚴重に警戒されて、讓治からの反應をまつたが、讓治自身はもとより、何故か第三の勸告も、その日は、たうとうこなかつた。

この夜第三の手紙を待ち明かしたものが、いま一人あつた――公平である。

アパートへ歸つたのは、八時時分であつたが――それまでも、ほとんど、三十分置き位に、外出先からアパートへ電話をかけて、速達か、郵便が來てゐないかと訊ねたほどであつた。

が、そのときも――歸つてからも――その夜は、たうとう、手紙がこなかつた。

――あの新聞記事に、憤慨したのではないかな。

あの記事――といふのは、大東和新聞の記事の中に、自分で……速水公平談として書いた記事のことである。

『峰島君の氣持は、無理ではないと思ふが、その手段は、穩かではなかつたと思ふ。友人として、峰島君が、一日も早く自首してくれることを望んでゐる。もし、彼が僕に何かの方法で相談して來るやうなことがあれば、それをすゝめるつもりである。僕としては、いま、これ以上いふことは出來ない』

といふのであるが、さう書いた氣持は、讓治に一度あひたい、あふことが出來なければ電話でもかけてもらひたいといふ氣持を傳へたい爲であつたのだが、自首を望むといふ言葉の方を重く見て自分を頼むに足らぬ人間として、嫌惡してゐるのではあるまいかと考へると輕い後悔を感じた。

――あんなことを書かなければよかつた。と思ふのだがもう遲い。

翌日に期待を殘して、その夜は眠りについたが……その翌朝、朝の郵便物が來た時刻に、階下のアパート共通の郵便受箱へ行つてみると

J・M

果して、その手紙があつた

新京日日新聞
朝刊

第二回全新京武道大會

前線に轟け此の氣合　非常時下に火花散る
壯絶無比四百餘選士の力鬪　今日ぞ見ゆ八島講堂

本社主催第二回全新京武道大會は國都武道界の絶大な期待裡に愈よ三日午前九時を期して八島小學校講堂で其壯烈絢爛を極める大豪華版を開幕する事となつた參加團體實に五十八組、即ち劍道卅四組、柔道廿四組、全員四百餘名の新進古豪選手の火華を散らす力闘の大繪卷は既に發表されたプログラムにより展開されるが、選士の秘策や如何に、昨年の覇者劍道滿鐵道場、柔道白雪會再び覇[illegible]や、幾多の新進又これに迫り、榮譽に輝やく覇權は果して何れのチームに落ちるや[illegible]許さず唯當日の武神の恩寵を頼むのみである、大會準備は全くなり覇權に微笑む本社大優勝旗、星野總務長官盃、平島滿鐵新京支社長盃、滿洲帝國武道會盃及び井上刀劍店寄贈の優勝刀、河又運動具店寄贈の柔道着は錦上華を添へて榮譽に輝やく事であらう、尙當日の番組は

午前九時選手入場の後國旗禮拜、開會の辭、優勝旗返還、會長上田本社代表挨拶、來賓祝辭（皆川民生部教育司長、關屋特別市副市長）選手宣誓、審判注意、柔劍道型の後試合開始

終つて後優勝旗授與、賞品授與があつて閉會することゝなつてゐる

▲覇權は何處に輝く優勝盃▼

出場選士名表

劍道の部

▲産業部B組　井上義人（三段）沼田幸作（二段）榊原昌（初段）中島武（一級）太田悟（一級）五代行夫、なし
▲産業部A組　井上義人（二段）橋本典郎（二段）中條松助（初段）中曾根武雄（一級）高山正（一級）藤田信男、なし
▲憲兵訓練處B組　軍村一彥（初段）鄧紹鎭（一級）李蔚廷（一級）薛玉珂（一級）傳德恙（一級）王廼仁（一級）和賞仁
▲憲兵訓練處A組　軍村一彥（三段）植松繁雄（二段）金子克己（初段）福地吉夫（一級）中曾根吉雄（一級）
▲中央郵政局　野田新（二段）木村愼吉（初段）長島監二（初段）小澤正夫（一級）佐藤賢一（一級）菊地一司（一級）鹽沼丑太郎
▲新京特別市公署　中村芳一（二段）江橋三郎（初段）今村利和（初段）岡師春良、松本茂、吉本岩夫、西田昇
▲弘道館　なし（三段）大橋忠雄（二段）鈴木勝雄（初段）種子島基仁（一級）柿田八二（一級）鈴木重正（一級）田村延夫
▲首都警察廳　綾戸正義（三段）太田徹（二段）米多吉平（初段）浮田春雄（一級）清水淺一（一級）前田正明（一級）福永壽奈男
▲中央銀行　なし（三段）三木（二段）藤丸（初段）後藤、山口、石田、若杉
▲滿洲拓殖公社　山崎晴生（二段）大田原義隆（二段）兒玉敏雄（初段）川久保滿（一級）若松庶一郎（二級）
▲新京商業學校A組　坂井藤三郎（三級）桑田光義（三級）上原茂隆（三級）小笠原讓三（三級）久玉忠雄（三級）渡邊濱（四級）赤阪芳明
▲新京商業學校B組　坂井藤三郎（四級）富田勇（四級）北信男（四級）中島正則（四級）遠竹純秀（四級）藤井肇（五級）近藤三男
▲新京商業學校C組　坂井藤三郎（四級）石川一男（四級）金鋪（四級）伊藤公明（四級）園田晋（四級）柳田于男（五級）高尾正治
▲新京商業學校D組　坂井藤三郎（五級）宮田治（五級）梶山勤一郎（五級）中澤保男（五級）杉山實（五級）北寛（五級）伊並喜美男
▲郵政總局　須田穰治（三段）藤原孝行（一段）宮村義行（初段）加藤時三郎（一級）安藤義和（一段）道味有、黒木弘
▲營繕需品局　藤井義文（三段）黒木春時、永淵恒彥、鈴木義重、有島輝男、淺岡嘉良、東福勇三
▲總務廳劍道部　後藤周助（三段）井上晴輝（二段）塗瀨秋夫（初段）山本正次（一級）佐藤則行（一級）湯田正之助、伊藤重三
▲新京振武館　西野善治（三段）伊藤丈一（二段）白石正雄（初段）菊地弘（一級）
[illegible]武内節、槇卓治、工藤文清
▲新京中學校O　なし、丸山崇、和田彰、須能信一、秋山文夫、江口忠春、本村繁之
▲滿洲帝國大同學院　熊谷源治（三段）日高清彥（二段）手塚良男（初段）所崎弘、平尾正、小河直人、小原一
▲地籍員養成所　小坂幹雄（二段）河上克己（二段）村津豐作（初段）鈴木浩重（一級）林田政儀（一級）大橋惠（一級）森島體
▲電々會社A　大垣滿（三段）榊泰三郎（二段）遠藤恒雄（初段）倉田正一（一級）茅根清一（一級）與芝惟吉（一級）後瀉興市
▲株式會社大興公司　柵瀨三郎（二段）仲田久雄（二段）坂本耕策（初段）山口里美、石崎健次、佐藤博純、井上正虎
▲滿洲炭礦株式會社　西野虎雄（二段）永島政行（二段）小川直一（初段）藤井彰（初段）矢野健、小松徹男（初段）關護
▲滿鐵道場　野崎俊道（三段）松浦長七（二段）井上義彥（初段）吉柳克己（一級）木村虎雄（一級）吉井忠志（一級）米盛鐵郎
▲櫻木小學校　なし（二段）山田茂衛門（初段）平野要太郎（初段）甲斐淳（一級）東忠夫（一級）坂本伊助（一級）矢野信行
▲新京青年學校　西川久仁平（初段）有山成海（一級）大淵幹夫（一級）小森成美（一級）德留正則（一級）井出政樹（一級）南野幸夫
▲經濟部　新井健二部（三段）甲斐卓（二段）石峰朗康（初段）甲斐鐵太、前田文二、澁谷忠一、船山忠三
▲大雅倶樂部　後藤善弘（三段）津田行雄（初段）三橋[illegible]（初段）湯淺武臣（段外）榎田敏彥（段外）津田義春（段外）小澤利友
▲大東公司　兒玉秀雄（三段）多田勇（二段）田代武臣（初段）鈴木富士郎　千川清吉、元村林爾、栗生純雄
▲滿洲電業會社　畑正雄（三段）戲根太一郎（三段）笹尾觀三（初段）三原一夫（一級）石澤定夫（一級）糸井四郎、なし
▲電々會社B組　大垣滿（三段）井坂治鉄（二段）佐々木弁（初段）梅原錄三郎（一級）和田淨還（一級）後瀉興市、なし

柔道の部

▲中央郵政局　西崎正男（二段）伊津野太（初段）德永譽治（初段）山本勇（一級）松間進（一級）脇田義丸、日高哲郎
▲青年學校　東正夫（初段）金剛金次（初段）近藤哲夫（初段）藤本三男（一級）佐藤虎之助（一級）遠藤敏雄（一級）松峰長夫
▲特別市公署A組　藤本稻生（二段）三澤修三（二段）横山正久（初段）佐藤康[illegible]　薩植祥　橫瀨大八　秋田巖
▲市公署B組　藤本稻生（二段）佐藤弘（二段）牧祝　藤科孝好　安藤則之　伊藤文也　綿引結
▲滿洲炭礦株式會社　上村重忠（三段）八東（二段）瀧澤（初段）飯田　舟木、石川（二級）井澤
▲水力電氣建設局　大山守（二段）梶谷好數（一級）金[illegible]（初段）管保（初段）樋口正民（一級）湯村善次郎（初段）鈴木康雄
▲首都警察廳　齋藤久七（三段）小林政晴（一段）松下正彥（初段）久木大四郎（一級）廣瀨利正（一級）江刺龍（三級）佐藤忽
▲交通部　島崎庸一（三段）酒井義弘（二段）杉本欣政（初段）朝倉俊雄（一級）早瀨貫兒（一級）鈴木四郎　なし
▲中央銀行　原正壽（二段）河合（二段）吉松（初段）佐藤　桑田　日野　高橋
▲白雪會A　城本（二段）北山正道（二段）渡邊康文（初段）岡本重己（三級）田村文雄（一級）奧津仁也（三級）福永佳夫
▲白雪會B　水野梅次（三級）平瀨進（三級）岡竹健市（三級）寬博（三級）多田武夫（三級）田中憲市（三級）諫山弘則
▲商業學校A　安達克榮（四級）山崎邦夫（四級）諸隈格（四級）笠置孝良（四級）吉川武利（四級）花田猛夫（四級）深山嘉
▲商業學校B　岡野達郎（五級）野田三男（五級）德永活二郎（五級）大隈憲司（五級）內村久雄（五級）福田巖（五級）宮腰周二
▲京中校友會　田中剛　赤穗光男　山口俊藏　田中稔　伊藤博美　栗若政治　塚本忠行
▲京中A組　鎌田蔵　井口正司　横山治雄　大社榮造
▲京中B組　齋藤健　梁在治　北林敏郎　伊藤秀雄　岩吉
正好　川島衛　大籔正臣　澁谷弘道　羽田光民　康鼎九
▲滿洲帝國大同學院　熊谷源治（三段）關操（二段）關正男（初段）小笹益造（一級）糸居一郎（一級）山口正助（二級）加留部直人　岡部理
▲電々會社　田中俊秀（二段）佐藤良（二段）丸太政男（初段）中村朝男（一級）吉田力（一級）岩尾茂雄（三段）田中俊秀
▲滿鐵道場　仲田周一（三段）小林藤辰（二段）長友光男（初段）伊藤愼吾（一級）赤坂岩治（一級）萱原徳男（一級）肥後三郎
▲經濟部A　竹内末治（二段）北山喜雄（二段）橋田敏二（初段）岡本重己（段外）福田幸一（段外、林祝補（段外）濱田讓
▲經濟部B　龜田剛（二段）小澤利友（二段）木村作一郎・初段）鈴木岩三（段外）西村守正（段外）齋藤一男（段外）榎田敏彥
▲電業會社（A組）　岡忠一郎（三段）山本武男（二段）久保田眞（初段）松本利雄（一級）橋田秀雄（一級）山之内松藏　なし
▲電業會社（B組）　岡忠一郎（三段）鵜生川浩三郎（二段）小林正（初段）松本高夫（一段）鶴田（一級）深堀　なし
▲民生部　菅原丹後（一段）高木義道（二段）宇野幟（初段）飯塚武一　天登憲治　上野寅雄

（柔劍とも上より監督、大將副將、中堅、四將、先鋒、補缺の順、無とあるは該當者なきもの、括弧内は段數）

滿鐵重役會議

滿鐵では二日午前十時より重役會議を開催、松岡、大村正副總裁、宇佐美、中西、平澤伊澤各理事等出席、當面の諸問題に就き種々協議を重ね同一時半閉會した

"非常時日本の眞の姿に接したい"
新民會訪日團一行二日來京

滿洲國の協和會の如く北支唯一の民衆團體である新民會では先進國であり且つ東亞の安定勢力である日本觀光の爲約一ケ月の豫定で赴日することゝなり同會中堅どころである新民會河北省指導部委員朱兆熊氏、同會中央指導部委員鹽月學氏の一行十七名は途次二日午後六時二十分着あじあで着京、驛頭協和會首都本部長于靜遠氏古海中央本部指導部長、武藤宣傳科長外協和會職員多數の出迎へを受けて直ちにヤマトホテルに入りサロンで記者團と會見、團長朱兆熊氏及び鹽月中央本部委員は

今度日本に行くのは櫻咲く日本觀光が目的であり東京を始め名古屋、京都、大阪神戸等の大都市を中心として一ケ月の旅程を組んであります、勿論、日本の政治經濟、産業、文化、交通と各般を出來るだけ詳細に見學し、非常時日本の眞の姿に接觸して歸つて來たいと思つてゐます、そして今後北支の發展向上に資せしめ度いと思つてゐます

と語り、次で一同協和會の懇親會に臨み、食堂で杯を傾けて滿洲國の母體である協和會と北支新政權の精神的原動力である新民會の諸氏は兄弟の如く和やかなひとゝきを過し古海指導部長歡迎の辭を述べれば朱委員、鹽月委員は交々立つて心からなる感謝の辭と將來は協和會と新民會は互に手をとつて東亞の安定に盡すことを誓ひ午後八時三十分散會した

尙一行は三日午前十時協和會を訪問の後國都の見學をなし午後二時十分のあじあで日本に向ふことゝなつてゐる【寫眞は歡迎會場】

外務辭令（二日附）

【東京國通】
關東局司政部長　今吉敏雄
兼任在滿大使館外務事務官

鐵道總局人事

鐵道研究所長
參事　渡邊豬之助
工作局長兼鐵道研究所長を命ず
工作局長參事　野中秀次
鐵道總局勤務を命ず
北支事務局
參事　江崎　八郎
工務局建築課勤務を命ず

帝國建艦計畫變更
國防の絶對安固

【東京國通】帝國政府は曩に英米佛三國政府から行はれた建艦通告の要求に對し去る二月十三日通報拒否の回答を行ひ同時にわが海軍々備計畫が何等他國を脅威するが如き性質のものにあらざることを闡明したが、海軍當局は其後各國の狀況、就中英米兩國政府から行はれた第二次ロンドン條約エスカレーター條項援用の公式通牒の事實に鑑み特に開始せられんとする各國海軍の大擴張を前にして國防安全感保持の建前から、既定海軍充實計畫の一部を變更し更に拔術的に再檢討を加へざるを得ない事實を痛感するに至つた模樣である、而してわが海軍當局は從來終始變らず堅持し來つた不脅威不侵略の原則を此期に至つても依然存續するものではあるが、極東近海をも侵犯すること可能なる大建艦が他國において特に口火を切られんとする情勢にある以上東亞の安定を確保する必要上海軍充實計畫の再檢討は絶對に不可缺の措置と看取されてゐる

冀東政府解消

【北京二日發國通】冀東政府合流確定後の同地區廿二縣々政は、臨時政府において接收を急いでゐたが、三月卅一日これを完了、四月一日より臨時政府河北省公署に移管された、かくて冀東政府の殘務整理一切を終つて同政府はこゝに解消した

大使館參事官
加藤公使兼任

【東京國通】加藤カナダ公使の駐滿大使館參事官兼任は二日正式決定發令された

人事往來

▲川人勝一氏（會社員）二日帝都ホテル
▲藤原可吉氏（同）同

一九二一年ワシントンに於て世界平和のためと軍縮を叫んだ米國は▼十七年を經た一九三八年の今日に於ては軍擴こそ平和維持の唯一の手段なりと絕叫してゐる▼米國の平和主義とはどんなものかは既に世界周知のところであるがそれにしてもその言草たる▼日本政府が建艦內容通牒を拒否した以上米國政府は日本政府が制限外主力艦建造の意あるものと見たゝめ▼第二次ロンドン條約の第二十五條を援用せざるを得ないと如何にも日本側に罪あるが如く▼己の非を蔽はんとする腹黑さには呆れて二の句がつげなくなる▼惠まれたる自國の國防を鼻にかけて無禮な口上を口走るとは天譴必ず爾の頭上に降らん矣▼漸く改善されんとした國都の時間また〳〵長森時間に後戻り▼國都の面目上これ以上の汚辱なし爾後不實行者は相手となさゞるに如かず

神武天皇祭休刊

三日は神武天皇祭につき三日夕刊および四日附朝刊を休刊致しますから御諒承願ひます

新京日日新聞社

社説 全新京武道大會開催

けふ神武天皇祭といふ誠に意義深き日に當り、本社は各方面の賛助後援を得て第二回全新京武道大會を開催する事になつた。これは昨年より企畫實施し來つたものであるが既に昨年のその第一回大會において充分なる成功を收めたのであつて、これは新京現下のこの方面の狀勢と時宜とによく適つた企てゞあつたと言ふことを得るであらう。今年もまた昨年に劣らざる多數團體の參加申込みがあつたのであつて、必ずや第一回以上の好績を收めることであらうと思はれる。玆に本大會に對して後援を賜ふた諸方面に感謝するとゝもに、出場選手諸氏が正々堂々その平素鍛錬せるところを發揮されんことを希ふ次第である。

末期支那の諸症狀

抗日支那の末期的諸症狀は漸く顯著となつて來たやうに思はれる。漢口に開催された國民黨の六全大會が先づ蔣介石に獨裁權を與へる決議を行つたといふ如きその一つであらう。蓋し蔣介石その人に、陸海軍總指揮權、非常時經濟統制權、國家總動員行使權を與へねばならなくなつたといふその事が、すでに國民政府がその存立のいかなる段階に到達したかを物語るのである。しかもこれに對して、蔣は參軍院なるものを設け非常時大權行使に當つて自らの責任をこれに轉嫁せしめやうと考へてゐるのであるから、謂ふ處の獨裁なるものがどのやうな性質のものであるかもまた容易に知られ得るのである。一面から言へば斯うした動きは國民政府並びに國民黨が愈よその國民から遊離したものとなつて來たことを示すものとも言へる。

かねて豫想されてゐた國民黨と共産黨との合作の破綻が次第に各方面で暴露されて來たことも、末期的症狀の一つである。廣東省の首腦者たちが共産黨排擊の通電を發した如き、支那的擧國一致の現實暴露に外ならない。全國學生救國聯合會の第二次會議で國共兩派の正面衝突が暴力行爲によつて示された如きも同じ種類の事實であつた。

更にまた重慶、武昌、成都長沙等のいはゞお膝下といふべき地方において反蔣運動が起らうとしてゐるといふのも注目に値ひするであらう。この運動に連なる者として[illegible]白崇禧、李宗仁等の要人の名さへ數へ上げられてゐるのである。國民生活に愈よ深刻な苦痛がもたらされ來つては、政權を執る者に對して怨嗟の聲のあがるは當然である。それが激化する時、やがて具體的行動ともならう。國民政府がこれらの症狀を引き戻す事はもう不可能であらう。

事變を契機として 在華紡奥地移動
―三月末現在操業狀況―

【北京一日發國通】北支在華紡の復舊は着々進められ三月末現在操業總錘數は四十萬錘に達してゐるが、特に事變後における之等紡績工場は從來の天津、青島中心主義を脱して濟南、石家莊等棉花集散地たる奥地に進出する傾向を示し、將來の在華紡の動向を示唆するものとして注目されてゐる、即ち事變前に青島、天津に集中した北支在華紡が奥地進出に轉換しつゝあるのは地方商人を目標とする在華紡績業にあつては商品市場と原料市場とを地理的に短縮することが將來運賃の二重負擔を除去する採算上の當然の歸結と見られ、この結果北支棉花の中心市場たる石家莊、濟南等における紡績機業の發展は非常な期待をもつて見られてゐる、北支各地における三月末操業狀況は左の如くであるが、就中濟南、石家莊等の新興紡績地帶における生產設備の擴張は奥地治安の回復と相俟つて急速なるテンポをもつて實現するものとみられる

△濟南 鐘紡仁豐紡績工場 一萬六千錘操業
△天津 操業總錘數約廿三萬錘 豐田紡成通紡績工場 一萬九千錘操業 東洋紡成大紡績工場 二萬八千錘操業
△石家莊 鐘紡が大興紡廠の設備を改善、晝業制操業を開始、二萬九千八百錘
△太原 鐘紡が晉生織染工廠六萬錘を經營現在約七割を操業中
山西紡績、上海紡績は大益紡織公司（山西紡織）一萬六千八百錘、生雍裕紡織公司（山西紡織）八千四百錘、益中染織公司（織機三百臺）の三工場が經營委任を受けて操業を開始

王氏狙擊犯人捜査に必死の活動

【北京一日發國通】王委員長狙擊事件犯人については事件發生と共に警察局から管下各警察署に電話指令を發し廿分以內に城內を閉し鐵軍に通行人檢査を行ふと共に各驛にも手配して乘車客の一齊檢査を行つたので犯人は現在尚城內に潜伏してゐるものとみられるがその後日支警察、憲兵、市當局協力の捜査にも拘らず未だ檢擧に至らず深く責任を感じた余警察局長は遂に王委員長に對して進退伺ひを出した、これは事件の直接責任者である第一區署長韓世清氏が余警察局長に辭職を請ふたので部下偵緝隊長馬玉林氏を一應懲戒處分に附したのみで責任を一身に擔ひ捜査を督勵しつゝ自ら進退伺を出したもので警察局全員は異常に緊張、一層嚴重な捜査を進めてゐる

蔣政權を離脱し 日本と提携 國共を屠れ
歸順した李隊長全支通電

【北京一日發國通】去る廿五日わが軍に歸順し卅日より河南省最北端渉縣任村集附近約五千の冀察遊擊隊及び共產黨第八路軍を討伐中の前國民政府第一戰區別動隊總隊長李英は卅日中國臨時政府、各省主席その他各機關に對し國民政府との關係を離脱し國共兩黨掃蕩に邁進する旨の通電を發したが、その概要左の如し

支那全國宛通電

民國創造せられて以來年を閱すること玆に廿七年、その間動亂相續き同胞互ひに相慘殺して寧日なし、その原因を尋ぬるに二、三軍閥ならびに三四政黨徒らに個人の利益を圖り、人民塗炭の苦を顧みず、就中蔣中正往年共產黨討伐の美名にかくれて衆を集め守歲忽ち抗日に轉じ、赤露と連絡してこれに師仕し、善隣の誼みを捨て日本を仇敵となし、更に焦土政策をもつて住民ならびにその城廓を燬せしめ郷土を廢墟とするも意とせずまた國軍に命じて退いて黄河を渡るを許さず各部隊の數をして華北の地に留りて土匪となり各地に潜伏し機に乘じて日軍後方の攪亂を圖らしむ名は抗日なりと雖も實は藉つてもつて雜軍を整理せんとす、たま〳〵よく黨國のために身をもつて砲口に曝し、善戰する者あるも一度敗退せんかその興黨にあらざる者は殺戮を免るゝ能はず、われ等將兵の運命は日軍の銃火に斃るゝにあらざればすなはち黨軍の手に斃るゝの外なし、その後方攪亂計畫たるや苟も國家のために利益あらんか、われ等將兵また生命を賭してこれに當るも辭せざるところなるも徒らに商民を塗炭の苦しみに陷らしむるに過ぎず、その慘苦人目を蔽はしむるあり、しかして日軍に對しては何等痛痒を與ふるなし

我々は以上の事實に鑑み吾等職責は全く弔民討罪にあるを知り玆に部下を率ゐて即日國民政府との關係を離脱し日軍と協定し相互に侵犯せざるを約しもつて共に新政府を擁護し保境安民に任じ國民共產兩黨を芟除し以て東亞永久の和平を確立せんと期す、言ふところ衷情より發す、玆に中外に聲明しわれと志を同じうする者速かに來りて盟に加はらんことを望む

北票、密山製鐵用炭の日本向け輸出
先づ本年度卅五萬瓲

急ピッチの鐵鋼增產繰上げに當り製鐵用コークス炭の供給問題が日滿兩國において鋭意研究されつゝあり、日本におけるその不足を補ふため滿洲よりの輸出が當然問題となつてゐるが、差當つて本年度は北票炭約十五萬トン、密山炭約廿萬トンが日本へ向け輸出を見るらしく、近く開催される炭業統制委員會において決定される筈である、然し乍ら將來における對日供給については果して幾何の輸出をなし得るか目下のところ確かなる豫想をなし得ない狀態にあり樂觀的觀測を下し得ないものと考へられる、即ち滿洲におけるコークス炭の產地としては從來の撫順、本溪湖、煙臺の三ヶ所のほかに前記北票、密山の兩炭鑛及び東邊道の各炭山があり、當初の產業五ヶ年計畫では昭和と本溪湖の鐵鋼增產に對しては本溪湖と北票の石炭增產とをもつて賄ひ東邊道における製鐵事業に對しては現地の鐵廠子、煙筒溝等から供給することゝして自給の計畫が出來てゐるが、最近日滿における鐵鋼增產量の追加に當つては滿洲における負擔を大量增加して銑鐵年產四百五十萬トンを目標としてゐると傳へられて居り、これに要するコークス炭は八百萬トン內外を要するので、その國內自給計畫には相當の苦心を要するものと察せられる、たゞ密山のみは本溪湖及び鞍山から約千七百キロの遠距離にあり運賃と輸送力の關係から國內製鐵事業に使用するのは困難であり、結局清津港を通じて日本內地及び朝鮮へ積出すことになるものと豫想される

滿洲、上海兩事變 追加行賞

【東京國通】過ぐる滿洲、上海兩事變の追加行賞として田中中尉等十五名に對して一日敍勳の御沙汰があつた主なるもの左の如し

旭三 石川鑑吉
功五、旭六 步兵中尉 田中寅雄
同上 步兵大尉 野津秀雄
功五、旭四 步兵少佐 東民次郎
同上 步兵少佐 町田等

產業都市 奉天の印象（下）
杉山正三郎

一方目を南西に轉ずればなんと廣漠たる野つ原ばかりだ、西南風の多いこの地に工場から吐き出される煤煙のかゝらぬ様にうまく住宅地を選定したものでなる、西方に鐵西工業地帶に働く滿人苦力の部落等勞働者の爲に建てた立派な赤煉瓦立の奉天市立鐵西南緩小學校もみえる、その他この地將來、發展を豫想して適當な場所を選定して日人小學校豫定地、病院豫定地、公會堂豫定地、小賣市場豫定地、運動場豫定地、歡樂境豫定地等決定しありとあらゆる設備を計劃し、全く至れり盡せりの親切振りである、やがてこの邊一帶が隙なく住宅で埋めつくされるもそう遠くないことであらう、さて鐵西工業地區總面積三、二四〇、八五六面坪の內官公衙、學校等用地が六五、八、四坪、甲種住居地域が三三〇、六一九坪、乙種住居地域三八五、九八七二三坪、商業地域一三六、三三五坪、工業地域一、三九三、四二三坪、道路線地鐵道用地が九二八、六八八坪を占めて居り、全區域が全く合理的に整然と

區劃

されてゐるのは國都建設計畫に同樣に自由に奔放に獨創的なものであることがうかゞはれる、說明は大體以上の如くであるが結論として有利な背後地と地理的條件に惠まれたこの工業地帶の將來を考へてみよう、近郊都市の發展充實に伴ひ、その方面に進出する可能性は充分あり、洋々たる將來を約束されてゐることは勿論であるが、こゝの生產品が全滿的に飛躍するかどうかは今後に殘された問題であり注目すべき點でもある、北滿には哈爾濱があり既に前述の如く北滿の工產品は大部分こゝで生產されることは簡單に想到し得る、新京は政治都市ではあるが建設計畫の中に輕工業地帶と重工業地帶に奉天程ではないが相當老大な面積を豫定してあり、自給自足をモットーに場合に依つては新京を中心とした附近の都市迄延びる餘裕を有してゐる、南滿の鐵西工業地區にするか全滿の鐵西工業地區にするかそれは專らこゝの人々の手腕と強大な資本力の問題に懸つてゐる、吾々は說明を聞き終つて日曜でも作業してゐたアジヤビール會社の工場見學に出かけた、僅かの人數で片一方からビールの空ビンが運び込まれると機械に依つて獨りでに消毒され冷藏庫からパイプで通つて來た冷却されたビールがつぎ込まれベルトに乘せられて整理され箱につぎ込まれるともうそれで終りだ、すべてが强大な正確な機械力に依つて片づけられて行く、その間十人ばかりの人々が機械力の及ばないところを補充してゐる位なもので實に簡單だ、他の工場も恐らくこんなに、より以上に完備された機械力の上に物凄い生產力を

發揮

してゐることだらうと想像されたが、日曜で軍需品關係のものをみることの出來なかつたことは返す〳〵も殘念であつた、現在滿洲におけるビールの製造は政府の統制のもとに制限せられてゐる、キリン、サッポロが年卅萬箱、哈爾濱のハルビンビールが七、八萬箱、そしてこゝのアジヤビールが十二萬箱となつてゐるが森脇亞細亞ビール社長の話では現在更に增產願を政府に提出中であるとかいふ事であつた、鐵西はこれで終つて奉天市最近の動向もついでに記して置かう、大奉天都邑第一期五ヶ年計畫第二年度を迎へた奉天市公署では本年度事業費として市債二百五十萬圓の他土地賣拂並に賃貸收入二百八十四萬八千圓それに雜收入合計五百五十一萬八千圓を計上して工務處都邑計畫科を中心として事業準備を進めてゐるが、先づ北部地域には北陵を中心として面積五百萬平方米の大公園の建設に着手し、大公園建設地域內における諸種の設備の外、北陵ドライブウェイの完成、北陵街道に沿ふゴルフ場一帶の住宅、商業地帶への變更建設も計畫、南業地域は專ら住宅地帶に、既設市街の幹線道路の工事を着手都市防水路の大計畫も着々進んでゐる、昨年治外法權撤廢、行政權移讓と同時に滿鐵附屬地がなくなり市に統一され、從來いろ〳〵な形式にあつて都市の發展を阻害して來たといはれる自治委員會は必然的に解散され、それに代つて諮議員會制度となつてからは市當局は從來の何倍も實行力を備へて來た、この事實は當然市政の上に色濃く反映するであらう、滿鐵附屬地居住者の所謂三十年組の根生は奉天の如き日本人居住者の永い歷史をもつところでは、行政權移讓は市の發展飛躍の上に

實に

劃期的なものであるに相違ないだといつていたづらに市がその實行力を利用して市民の意志を斥けて獨善的な行政を行へばその弊害は三十年組根生の市政反映よりも大きく且恐るべきことである（完）

林主席息子 踏みつぶされて死ぬ

【東京國通】妻を故郷に殘して渡米留學中、ヤンキー娘と一緒になつたまではよかつたが、そのアメリカ娘から重婚の廉で訴へられ目の玉の飛びでるほど慰藉料を絞りあげられて歸國、山西の田舍にあつて青い抗日の氣焔をあげてゐた國民政府主席林森の勘當息子チェームス・林の行方についてはアメリカのU・P通信は戰死したといひ、イギリスのロイテルは確かに生きてゐるといひ、當地外人間では話の種となつてゐたが、國民政府外交部ではこのほど正式に「林は群衆のため踏みつぶされて死んだ」とつぎのやうに發表した

チェームス・林は昨年十一月日本軍の太原城北門攻略後撤退の支那軍に混つて難を避けんとした際城外において顚倒、その際群衆のため踏みつぶされたこと確實である

大同、綏遠の日本人兒童 樂しい就學

【綏遠二日發國通】戰火を離れて半歲、蒙疆地區の住民は早くも安居樂業し治安全く回復全支に魁けて行つてゐる列車の夜間運轉も一度の事故も惹起したことがないといふ有樣である、躍進日本の最前線にある者は須くじつくりと現地に腰を据ゑて掛らねばと、先頃張家口では邦人小學校や幼稚園まで開校され百數十名の兒童達が可愛いお手々をつなぎあつて讀書に遊戲にさては唱歌に蒙疆人に驚異の眼を瞠らせながら樂しい就學風景を描き出してゐるが今回大同綏遠でも四月一日から百名近くの兒童を擁して小學校が開校され樂しい童心の天國が始められた何せ老大な資源を擁して素晴しい發展振をしてゐる蒙疆のこととて現地の人達は行く行くは中等學校や高等專門學校までつくつて蒙疆第二世は現地教育中心主義でと張り切つてゐる

傷兵保護院總裁 松井大將最有力

【東京國通】事變後の善後處置として五日早々開設を期してゐる傷兵保護院の總裁については今回の支那事變に直接關係を有する人物より起用することが最適なりとの見地から曩に上海方面軍最高指揮官として赫々たる武勳を樹て過般凱旋した松井石根大將が最有力視されてゐる

駐日獨大使にオット少將
獨政府外交官異動

【ベルリン一日發國通】リッベントロップ外相はかねて防共の外交方針に基き日英伊三國駐劄大使の後任を詮衡中のところ駐日大使には現駐日大使館附武官オット少將を拔擢するに決定、駐英大使には前駐日大使デイルクゼン博士をまた駐伊大使には外務次官フォン・マッケンゼン博士を任命、これに伴ふ外交官の異動を一日左の如く正式發表した

任駐イタリー大使 外務次官 マッケンゼン博士
任外務次官 外務省政務局長 フライヘル・フォン・ワイゾッカー
任駐英大使 駐日大使 デイルクゼン博士
任駐日大使 駐日大使館附武官 オイゲン・オット少將

新駐日大使オット少將は本年四十九歲、一九三四年四月一日東京に着任して以來駐日武官として日獨親善に盡し特に日獨防共協定締結には少將の努力に負ふところが頗る多かつた（寫眞はオット駐日大使）

木材需給不圓滑
最近市場における木材の記錄

的昂騰及び需給不圓滑については
一、特殊需要材の臨時要求による集團伐採出材の賣止め
一、例年に比し解氷期が約半月早きため原木搬出困難
一、輸送用貨車繰り不圓滑
等が原因として擧げられてゐるが、一方本年度全滿木材需要豫想量は關係筋の調査によれば八萬石と推定され、これに對する生產計畫量及び輸出量は

生產計畫量	約八〇〇萬石
官行伐採	同四〇〇萬石
集團伐採	同四〇〇萬石
輸入推定量	同　五〇萬石
輸出推定量	同一〇〇萬石

で差引約五十萬石の不足を告げてゐるが右木材需要は大體六月頃までが旺盛なるに反しこれが供給（生產、輸入）には年內一杯を要するため全部の供給不可能は必然的であり相場又强含みでこれが成行は各方面の多大な注視を集めてゐる

新京取引市況（二日後場）

	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	—	—	—
小豆	—	—	—
米	—	—	—
玉蜀黍	—	—	—
●大豆 四月限	三、三三	—	三車
五月限	三、三六	—	三車
●高粱 四月限	—	—	—
五月限	—	—	—

手形交換高（二日）

[illegible]枚 [illegible]

祝第貳回全新京武道大會

隱れた功勞者 衞生兵と特務兵
戰ふ兵を援ける辛い任務 皆さんご存じですか

衞生兵

天に代りて不義を打つ―皆さんおなじみのある『日本陸軍』の歌の中に

戰地に名譽の負傷して
收容せらるゝ將卒の
命とたのむは衞生隊

とあるごとく、彈丸雨飛（彈丸が雨のやうに降る事）の第一戰線で名譽の負傷をした將兵たちを、すばやく擔架にのせて、彈丸のとんでくるおそれのない―安全な後方へはこび、急場手當をしたり、野戰病院（戰線の後方に設けられた假りの病院）へ送るのが、わが衞生兵の任務であります。この衞生兵の中には昔は看護兵と云はれたものと、擔架兵といつて傷ついたり戰死した兵士を後方へ擔架ではこぶ兵士もふくまれてゐるわけで、その上衞生兵を助ける補助衞生兵士すなはち、昔の補助看護兵もゐます、ですから彼らはむろん、彈丸雨飛のあぶない最前線にも、時によつて立つわけで、その上貴い味方の兵士の生命をあづかり、まもつてゐるのですからその責任はおもく、その苦勞は非常なものです。戰地で負傷兵をいたはり、安全な場所へ送るためには、まづ擔架、患者車、患者自動車、患者飛行機なども用ひられますが、やはり擔架が第一で、その他は一般は負傷者の手を肩にしたり抱いたりして後の適當な地點につれて來て、急場の手當をほどこします。

特務兵

もう一つ、華々しい砲煙のかげにかくれて、つらい彈丸運びや兵士たちの衣類、食物などをのせたお馬の手綱をとつて、車塵にまみれながら一日に十二里の山道を行軍する特務兵（昔は輜重兵）の苦勞をどなたもわすれてはなりません、いかなる勇士も、働くための食物がなくては、戰ふための彈丸が切れてはどうすることも出來ません。そのたいせつた食物や彈丸を一時もはやく第一線へとゞけるのがわが特務兵の任務だからであります。」

兎程の小動物が なんと骨格は象そつくり
珍獸・ハイラックスのお話

兎程の小動物があの大きな象大王にその骨骼がそつくりといふ興味ある動物珍話――それは『ハイラックス』といふ小獸であります。この動物はその外形も習性も共に兎によく似てゐます、從つて一見兎の骨骼と同じだらうと思ふ程ですが、その實は大變違ふものだと動物學者はいひます。

×

（ハ）イラックスは分類學上では象や犀に近くその足の構造は大小の差こそあれ、骼に非常に似てゐます。違ふのはまづその齒で、僅一部分に兎と同様のるに過ぎず上下兩あごの臼齒の構造はほゞ犀類に等しいのであります。だから英國の動物學者ウッドワルドは兎と間違へるなどその研究論文に書いてゐるさうです

×

（全）體の骨骼について見ればその屋椎骨は極めて短く鎖骨あるものは長い鈎爪を備へ、其他は前足の指と同じく、短くて幅の廣い爪を備へて居ます、この點も亦犀に似て居ますが象の足の骨骼に一層よく似て居ます、又その外貌について云へば、口吻は尖り、耳は小さくて圓く、身體は厚い毛皮を被り、その色は、殆んど一様で目立つ斑紋はありませんが、毛の長さや色彩等は種類によつて相違があります

は他の君眉蹄類のやうに全くかけてゐます。前足には五本の指がありますが、外部からは四本の指が認められその最も外方に在るもの（第五指）は大變短く、又拇指は僅に痕跡を留めるだけで外部からは見えません。

（後）足には三本の指の趾が明らかに認められ其最も内方に

×

（此）類に屬するもので現今知られて居るものは約五十種あつてアフリカ、アラビヤ、シリア等に產しアフリカ南端のオランダ植民地はこの動物をクリップダース（岩狸）と呼んでゐますが、併し狸とは何の關係もないものです。東京科學博物館にこの標本が一個ありますがそれはアフリカの高地產のもので日本唯一のものであります。

童謠 あひる 河上もえる

あひるの散歩
パピプペポ
お尻をふつて
ヨッチヨチ
あひるの唱歌
ガギグゲゴ
お首をのばして
すましてる

悲喜こもぐ 世界にオーロラ出現

日本では緯度の關係から見えなかつたが、去る一月廿七日全世界にオーロラ（極光）が出現し歐米の人々を驚かせた赤、紫、靑、綠等の色彩は虹の樣にはつきり見え、ロンドン學界では五十年來の美事なオーロラだと言つてゐるが、各國の人々がこれにどんなに驚いたか、集つた情報を御紹介すると次の通り

一、先づロンドンではオーロラは世界大戰の折ツエッペリン航空船の空襲に際して現はれて以來なかつたことなので市民はいづれもびつくり仰天したが、オーロラが北方に見えるためウインザー城が火事になつたと思ひ込み火災報知機を押す者が多かつた

一、戰爭に脅えて居るフランスの農民達は「そら戰爭だ」と騷ぎ立てた

二、オランダでは、折から皇儲ユリアナ姫の御分娩期であつたので「王子樣御誕生の前ぶれだ」と狂喜亂舞

一、ポルトガルの農民達は口々に「オ・ファイン・ドムンド」（世界滅亡の日が來た）と地に伏して祈る者續出

一、大西洋を越えて米國ではオーロラは消のボルチア邊迄見えたニューヨークのヤンキー達「美事な虹だ」と平然たるものだつた

兒童作文集

入學發表の日
八島校尋六 谷二郎

人生の第一歩としての中學校入學、その事が分つたのは三月五日の朝であつた、僕が學校へ行くといきなり『おめでたう』と言つて友達が走つて來たので僕も思はず『よかつたなおめでたう』と言ひかへした。新聞を見ると『中學と商業學校合格者發表』と記された中學部に『谷二郎』とはつきりかゝれてあつた。それをみた瞬間六年間の勉強の苦心と嬉しさとが胸一ぱいになつて嬉しさはとても筆や口にはつくす事が出來ない程である。朝會がすんで先生が教室にいらつしやり『入學したと言つてその嬉しさにまかして校風をやぶつたりして下級生に對してよくない考へをもたしてはいけない。又おちた人は本當に氣の毒です。しかしこれも時の運ですから今から一生懸命に勉強して來年は入學できる樣にしなさい』とおつしやつた。そして先生は入學した人の名をおよびになつた。僕の名前をよばれるとはつとした。そして二度うれしさが胸にこみあげて來た。家に歸ると家でも又大さわぎだ。兄さんと約束の萬年筆をもらつたり、弟と約束の物をもらつたり、又明日お父さんが內地にお行きになるから、かへりにおばさんとの約束の時計やお父さんと約束の物を買つて來て下さると言つたりしてから、內地のおぢいさんとおばさんの處に電報をうちに行つた。途中考へてみるのに『小さい中學生が出來るのだ、そして僕のやうなチビがネクタイをするのだ』と考へてみるとおかしくもあり、又うれしくもある。

慰問品
白菊校尋五 團迫晶子

お外にちら／＼　粉雪が
降つてゐるのを　そつと見て
兵隊さんは　寒かろと
慰問の手紙を　書きました
もうあと二日　あんだなら
兵隊さんの　くつしたが
いま一つ　出來るのと
こん／＼粉雪に　言ひました
毛布とくつした　出來たなら
慰問の手紙　そつとそへ
おやくめはたして　下さいと
日の丸の旗　つけませう

日の丸の思ひ出
白菊校尋五 五十子健彌

出征兵士の送迎に、祝勝の喜びに日の丸／＼の此頃僕にはこの日の丸について深い思ひ出がある。それは僕が內地にゐた時である。秋季皇靈祭の朝福島君の家の前を通つた時「やあきたない國旗だなあ」と思はず言つてしまつてはつとした。いくら惡いきたない國旗でも國旗であることにかはりがない吾等日本の尊い國旗である。畫用紙にクレヨンでぬりたくつた日の丸だ細い竹の先で國旗にピンとしてゐる。この前兵士達を迎へに持つて行つた旗だしばらく見つめてゐた僕は涙ぐましい氣持になつてくることをどうすることも出來なかつた。「よくこんな旗を……」と思ひながらも、見れば見る程このきたない國旗の中に何ともいへぬ尊さのある事に氣がついた。さつきの聲が聞えたか知らと思ふと急に恥かしくなつて飛出した。家の前まで歸へつてふりかへつて見ると葉が紅くなつて幾少なになつた木の上に「ちよこなん」とまだ見える。福島君の家はお母さんがない。お父さん一人だ。そのお父さんは毎日のら仕事である。紙の旗でも精神がこもつてゐる。絹の國旗をたてるのも氣持は同じである。國を愛する氣に變りはない。祝日を祝ひ祭日を祭る氣持に何の變りがあらう僕はあんな事を言つて惡かつたとしみじみ後悔した。明日學校で福島君にあやまらうと心にちかつた

兵隊さん
八島校尋三 妙田俊夫

とて、とて、とて、と軍旗を先頭にらつぱをふき、わるい支那兵をおひはらふ日本の兵隊さんのいさましさ。なんとおれいをいつてい丶か分らない。

雨とふりくるたまの中、けはしい山、深いクリークもへいきですすんで行く日本兵あらしの夜も平氣で大洋をこえて行く飛行機、私は日本の兵隊さんがすきだ。日本人に生れたことがうれしくてたまらない。ニュースを聞く時、いつの間にか私は戰爭に行つてゐるやうな氣になつて、思はずしつかりにぎりこぶしをしてゐる時がある。

大きな功をたて、支那兵の首をいくつもさげて、歸つてきた私をにこ／＼笑ひながら日の丸の旗をふつてむかへて下さるお父さんや、お母さんのゆめを見ることもある。

強い日本、勇しい兵隊さん大きくなるのがまちどほしいきつと／＼強い日本兵にならう。

(1)「コレハスバラシイメイトウダ、ヒヤクリヨウノネウチガアルガハンブンオレテキルカラ五十リヨウデカイマセウ」トイツタ、ヤドヤヘカケコンデ「サア五十リヨウダケネカシテクレ！」トニカイヘカケアガツテオホイビキ。

(2) メチサマシタノハソレカラ三カメ「ア、ヨクネムツタモノダー」トノビチシタヒヨウシニゲンコデカベヲツキヤブツテシマツタ「ウワ！ジシンダー！」「ジシンダー！」ト、ウチヂユーノサワギ「オツトケンノン／＼、ハイサヨウナラ」カベノアナカラヌケダシテ、グモカスミトニゲダシタ。

2
オットケンノン／＼
オドロイタ
ツヅク

東京オリンピック大會目指し スイス東京間 徒歩旅行
スイス徒歩選手ス君の壯擧

スイスの徒歩選手權保持者ステニンガー君は一九四〇年の東京オリンピック大會を目指しスイス東京間二萬三千粁の徒歩旅行を思ひ立ち去る二月五日スイスのチチリッヒを出發壯途についた、ステニンガー君は途中フランス、イタリー、ギリシヤを經てアジアに入りトルコ、イラン、アフガニスタン、印度、印度支那、支那を經て一九三九年東京にゴールインする豫定だが健脚首尾よく歐亞大陸を征服出來れば國際オリンピック委員會からトロフイーを授與される筈である

けふの番組
三日（日曜日）【M・T・C・Y 新京放送局】

ラヂオ

○神武天皇祭

朝
七、〇〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）
七、二〇ニュース（大連）
七、五〇朝の音樂
八、二〇氣象通報
九、三〇子供の時間（鹿兒島）＝鹿兒島市加治屋町より中繼＝ ラヂオ見物 明治英傑の誕生地めぐり
一〇、〇〇小學校教員國民精神作興大會實況（東京）＝日比谷公園廣場より中繼＝
一〇、四〇週間を顧りみて「錄音」（東京）
一一、三〇經濟市況（東京）
一一、五九時報（東京）
引續き マンドリン合奏（東京）＝未定＝
〇、三〇ニュース（東京・新京）

晝
一、〇〇講演（全日滿放送）投資の新天地滿洲 滿洲重工業開發株式會社總裁 鮎川義介
一、二〇雅樂 壹越調音取 豐雄秋（東京）
一、五〇國民歌謠 愛國の花・外（大阪）
二、一〇琵琶 櫻狩 中澤錦水（東京）
二、三〇講談 義士外傳 槍の俵星 一龍齋貞丈（東京）
伴奏 大阪ラヂオオーケストラ 藤堂顯一郎 佐藤小夜子

夜
四、〇〇ニュース（東京）氣象通報・ニュース（新京）
六、〇〇子供の時間（東京）童話劇 金魚のいさかひ 笹本寅作 アタゴ童話劇團
六、二五講演 春の犯罪防止に就いて 首都警察廳司法科長 中島菊平
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇吹奏 八紘一宇の夕（東京）陸軍戸山學校軍樂隊＝未定＝
八、〇〇筝曲 今井慶松＝未定＝

八、二五ラヂオ風景＝未定＝ 愛國行進曲
九、二九時報・ニュース・ニュース解說（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）
アナウンサー 宮岡 上森

あすの番組

朝
七、〇〇ラヂオ體操・入港船のお知らせ（大連）七、二〇ニュース
七、五〇朝の音樂（大連）八、二五初等滿洲語講座（大連）
○氣象通報 五、五〇建國體操
九、三〇經濟市況（東京）
一〇、〇〇家庭講座「滿洲國防婦人會發會を觀して」武藤能婦子
一〇、二五料理獻立（哈爾濱）
一〇、三五家庭メモ
一一、四〇經濟市況（大連・新京）
一一、三五經濟市況（大連）
一一、五九時報（東京）

晝
〇、〇一晝の演藝（大連）ピアノ タンゴ・デ・トーラ、ソンゴ・デ・ムーラ 上フサ子、指揮 西田友彦、伴奏 ハピノス・タ井
一、三〇ニュース（東京・新京）
三、〇〇經濟市況（大連・新京）
三、五〇經濟市況（東京）
四、〇〇ニュース（東京・新京）
四、〇經濟市況（大連・新京）氣象通報・ニュース（新京）
五、二〇ニュース（鮮語）道俗謠（鮮語）

夜
六、〇〇子供の時間「兒童オペラ」衣 六、コドモの新聞（東京）
六、二五「王道講座」王道書院講師 佐藤膽齋
七、〇〇ニュース（東京）ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
七、三〇特別講演（東京）「國民健康保險法に就いて」保險院長官 進藤誠一
七、四〇長唄 四季の山姥 唄 杵屋十七郎、同 杵屋十松、三味線 杵屋勇七郎、同 杵屋十平、小皷 堅田喜之助、同 豐勝千代、大皷 豐翠富助、太皷 堅田喜久枝
八、〇〇和洋合奏（東京）東洋管絃樂團 指揮 平山猛雄
八、三〇淨瑠璃 義太夫（大阪）「烏帽子折源氏、伏見の里の段」＝新座＝ 淨瑠璃 竹本南部太夫 三味線 野澤勝平
九、二九時報・ニュース・ニュース解說（東京）氣象通報・ニュース・告知事項・番組豫告（新京）
一〇、二〇ニュース再放送
一〇、三〇北滿の時間（哈爾濱）
アナウンサー 上森 宮岡

世界豆ニュース

▼…眞暗でも安全電球つきスリッパ
夜中に起きた場合眞暗な廊下で足をふみはづしたり、階段から轉げ落ちたりすることがあるが、これを防ぐ爲に今度米國で賣り出されたスリッパは踵の前に電球が嵌めてあるので足をあげる度に光線がさし足下を照すものであると

▼…掌に入る豆寫眞機米國で大もて
紐育で目下大もての寫眞機はピンポンの球より少し大きい位で、目方はヤッメ十五匁で十六ミリのフイルムと同型のものを八枚連續して撮影出來るものである、掌に入るのでどこへでも持つてゆけるため大好評である。

學藝

……戯曲……

望子（三幕）2

藤川研一 作

仲三　何年になりますかな。未だ滿洲國になる六年程前に、行方不明になりましてな

張奇　十一年か、ふーん親不孝な母だな。

仲三　風の便りにきけば、河向ふに行つて了つたとかで

張奇　河向ふ

仲三　ロシアですよ。馬鹿な奴ですよ、今頃は……イヤ死んで了つたかも知れねえ

張奇　オイ、親父さん、その不孝者の名前は何て言ふんだ

仲三　劉明新つて、さうだ十四の時だつたから二十五になつた筈ですよ。

張奇　もう一度きかしてくれ

仲三　へえ？　何を？

張奇　名前だ

仲三　劉明新

張奇　劉明新？

仲三　知つてるんですか？

張奇　イヤ、親不孝な奴だな

仲三　可愛いゝ、良い奴でしたがな。

（話の途中、酔つた男起き上る）

李　親不孝か、親不孝かッ

仲三　お客さん、陽も暮れましたが何ちらへ

李　何ちらへ、さあ俺にも判らねえ、とに角もう一本だけ呑ましてくれ

仲三　呑むのはかまわねえが體に悪いですぜ

李　體に悪いか、さうかな。親父さん。お前お袋あるのか

仲三　お袋

李　おッ母さんよ。

仲三　ヘッヘッヘ、からかつちやいけねえ

李　あるのかよ

仲三　女つ氣は娘の喜子一人でさあ

李　娘？　ふーん、お前の娘だつたら美人だらう

仲三　へえ？そりやもう

張奇　お前嫁に貰つたら何うだ

李　何？　嫁に

張奇　さうよ、綺麗な可愛いゝ娘だぜ。

李　うるせえ、俺はお袋の話をしてゐるんだ。

張奇　ナニ（と氣色ばむが相手が、酔つ拂ひとみて氣拙く黙る）

李　（しんみりと）お袋つていゝものかな。

仲三　そりやお前

李　俺あお袋に逢ひてえんだ

仲三　お前家出でもしてゐるのか

李　うゝん

仲三　ぢや何うしたんだ。

李　死んだんだ。お袋も親父も

張奇　逢ひに行けよ、お前が死ねばいゝぢやねえか

李　ナニ？

張奇　お前捨子だな。

李　ナニ？

張奇　捨子だよ、きまつてらあ。

李　お前は誰だ。

張奇　御覧の通りよ。お前の親達はお前を捨てゝ何處かへ逃げたんだな。

李　ナニッ（と立上り）もう一遍言つてみろ

張奇　（一寸慌てゝ）冗、冗談だよ、怒るなよ、若いの

李　俺あ親の顔も知らねえが親の悪口を言ふ奴は生かしちやおけねえんだ。

仲三　まあ〳〵、冗談だよねえ旦那冗談ですね、（と奥より喜子）

喜子　パパ、パパ

仲三　ウン、今行くぞ、（二人に）一寸御免なさい。（と奥へ去る）

張奇　お前怒つたのか、怒るなよ、勘辨しな。

李　イヤ怒つてやしねえ、俺あ無性にお袋が、戀しかつたんだ。

張奇　お前何處の者だ。

李　知らねえ、親の名も知らねえ、誰がつけてくれたか李春陽つて名だけは、俺のことだと知つてるだけだ。

張奇　ふーん、それで之から何處へ行くんだ

李　判らねえ

張奇　仕事もねえんだな。

李　ん、旅から旅を歩き廻つてるんだが、俺みたいな奴は、何處かで野垂死にするのが關の山だよ。

張奇　さうか、（小聲で）おイ良い仕事があるが、やらねえか、

李　仕事？　いくらくれるんだ。

張奇　さうよな。五十圓で何うだい。

李　五十圓、よしやらう

張奇　後で嫌といはねえな。

李　言はねえよ。だが仕事は何だ。

張奇　今日になるか、明日になるか、いやもつと後かも知れねえ、併しその間の食ひぶちは出すさ

李　ん

張奇　その間、此處の家にでも厄介になつたら何うだ。

李　ん

（つゞく）

ある移民青年の手記（C）

江草茂

ぼく達の村は約千人ばかりの人口から成つてゐる。ぼくが此處で誇りたいのは、ぼくの故郷にも無かつた様な立派な病院だ。お醫者様は又ぼく達の村の指導者だ。村に病院が出來てから村は勿論、附近一帶の滿人部落にも病氣が少くなつた。あの不衛生な環境の中で健康に鈍感な生活をつづけて來た滿人達の生活が、ぐん〳〵と引き上げられて來たのは目覺しい事實である。

ぼくはこの事實の中に輝しい文化滲透の生きた歴史の姿を見る。病院を通じての日滿親善民族の協和、これは實踐に依るプロパガンダであり、生活を通じた偉大な教育である

農民に執つては土地が生命である、而してそれが生活の總てである。その土地の入れ換へが滿人農民々の間に極めて平和に、何の不滿も危惧も無く行はれる、彼等は嬉々として與へられた代償地へ赴き移民村に彼等の土を讓つて呉れる。これは驚くべき話である。農民同志の心の理解が打算と民族の血を超えて複雑な利益社會の桎梏を抛擲的融和の中にとけこましてしまふのだ。

この事實は筆とことばの理念より強い。一つの反噬で崩れかゝる様なプロパガンダや強利ならば、いくら説いても畫いた餅である。

大地は人類の母である。その上に民族の血の差違は最後の一滴迄も濾過される。

○

ぼく達は病氣になつた場合治療費としてそれに相當する作物を積立てゝ貯藏する。これは僚かに前資本主義的な經濟思想である。貨幣經濟の機能を沒却した物々交換である考へて見ればぼく達は貨幣が仲介となつて、新らしく添加された價値を生んで更に流通過程に入ると云ふ資本主義經濟機構に對して、最小限度に制約された接觸の下に生活してゐるのだ。村では大抵のものが物々交換で濟まされるから、殆んど小遣ひと云ふものは要らない。月二、三圓で充分だ。而して組合的相互組織で物資の融通を計つてゐるので、現金に依る購入の機會は極めて稀である。

而してこの病院が、藥品や治療機具を必要とする場合、この積立てられた作物を貨幣に代へて外部から購入する。ぼく達はこの狹き門を通じ、てわづかに資本主義經濟と交通をつづけ合つてゐるのだ。ぼくはこの行き方をいまよいとも悪いとも批判しようとは思つては居ない。全體主義的な生産の新しい形式は、新らしい計畫經濟の方則を創造して行つてゐると云ふ、原則的な事實を静かに客觀しようと思ふ。

—而してぼく達もロビンソンクルソーでない。日滿經濟の繋りに、かたく手を組んだ一つの環であることを知つてゐる。

ぼくは、トルストイの「人はどれだけの土地を必要とするか」を讀んだ。それは或るロシアのシベリヤ移民が、小作官のところへ行つて、「お役人様一體わしは、どれだけの土地を耕したら、いいのですか？」と訊いた。「うむお前が太陽が出ると共に起きてお前の足で出來るだけ歩いて日の暮れる迄に此處に歸つて來い。お前が歩いた範圍の土地をお前の耕地として與へよう」と云つた。憐れ愚かな農民は、朝から夜迄走りつづけに走つた。何十露里かの土地が彼の靴の下で砂をはねかへした、そして彼が息を切らし作ら小作官の事務所に辿りついた時、彼は激しい心臓の激動のために、息絶えてしまつた。彼が生命をかけて走りつづけて、獲た地所は僅かに彼の軀を埋めるだけの一塊の土であつた。と云ふ寓話である。

ぼくはこの話をとても深い感慨と同意の心で味ひしめた。農民は廣い土地への欲求よりも、自分の生産力の發展性の上に、生活の基調を置かなければならない。土地を獲ることよりも、土を愛すること、そして土と共に生きることが眞實の生活である。（終）

ヴェラ（上）

波多徹

どんなに尾を振つてみても足を擧げてみても野犬の様に嫌はれてしまつて見れば全く仕方の無いものだ。

虫が好かんと言ふやつであらう。さう思ふとそんなに振られるまで一生懸命あれやこれやと得意になつて勉めたことがそれだけ逆効果を齎らしてゐたわけであつたかと、野良犬の様に悄然とせざるを得なかつた。

知らない知人達にはよく、貴兄のステップは嘸見事でせうなどゝ臆測されるが實際はダンスのダの字も知り得ない環境に在つた私が昨年のクリスマスの夜以來急激にホールに馴染み出した。そこへもつて來て突如として内地のダンス斷禁説等が傳へられたと言ふことも強材料となつたと言ふと少し大袈裟だが私の性格の一部分に太刀打ち出來ない大きな勢力に何がなし女性的に執拗な反抗をしてみると言ふ素質のあることも否めないのである。元旦から三ケ日の休暇どころではない五ケ日間ホールに皆勤してしまつたのも隨分如何かと思ふ話である

何しろ基本的訓練は何も受けてはゐない。音樂の素養は全然無い。ときたら何をもつてホールに臨んでその醍醐味を味ひ得るかと言ふことになるのであるが、何しろ心臓を養ふことをもつて唯一の人生修養と考へてゐる位だから、ホールのエテイケット位何をか恐れんやである。

我が踏むステップが如何に餅を喉にひつかけた猫の如く蹌踉として踊らうと、我が親愛なるパートナーの爪先に血が少く位にじみ出さうが、敢て周圍を恐れんやである。

タンゴ、ブルース、トロット、ワルツいはんやルンバ・スケタースワルツも見よ、來つて我が獨特の表現の前に屈服せよと言ふ凄じい信念を持つてゐたのである。

ヴエラはSホールのダンサーであつた。一目みた時から好きになつた。

如何いふところが印象に殘つたかと言はれると、さて夜目もきかないホールの中で何處に彼女が居ようと私にはスクリーンの大寫しの如く瞳に映じ、彼女の未だ出席してゐないホールと言ふものはたとへどんなにホットヂャズが狂はん計りに我鳴りたてゝゐようとも、私の心は深海魚の如く沈潜してまつてゐたと言へば好いであらう。

どうせ踊るなら好きな女と踊るに如くはない。たとへ私に二つ上の女房と今年二つになる小供があつたとて、好きなものは好きなのだ。

カフエーにせよバーにせよデパートにせよ、ギャラリーにせよ、又それが會社の女事務員にせよ、タイピストにせよ、對女性の場合の私の平素の心構では愛欲の表現を除いて考へ得ることが出來なかつた。否今でも出來ないのである。私はそれを正しいと信じてゐる。異性間に於ては決して同性間の様な友情は成立しないものであると言ふ持論である。

映畫放談

徐明

新聞の映畫欄が最近時々ではあるが支那映畫に就ての紹介、解説を試みて呉れるやうになつて「漁光曲」「迷途的羔羊」「花開花落」と三つも上海の映畫を見る機會を得たそして感じたことはそれら一群の支那映畫（勿論支那に於ける傑作に屬するものであらう）は表現技術の點に於ては日本映畫に比べ拙劣な憾みはあるが、その主題、内容の點に於ては遙かにモーラルな堅實なものを持つてゐるといふことである。

「漁光曲」「迷途的羔羊」が明らかに所謂傾向映畫であるとしても、純然たるメロドラマである「花開花落」に於ても二人の若き青年男女は正しく強い愛の力を以て不正な社會的金錢的な壓迫に抗してそれに打ち克ち、我々の前に正しい戀愛の道を示してその方面に於ける我々の奮起を促してゐる。

最近日本映畫で問題とされ傑作と謂はれる熊谷久虎の「蒼氓」にしても「阿部一族」にしても何んと救ひのない映畫であるか。自分は遂に悟りもせずに泣きの涙で南米に渡航してゆく貧民の姿や、親しい朋輩を殺し合つたりすることは余り見たくない。映畫の持つ強烈な感化力—社會への影響、こんなことを考へる場合日本の映畫の言つてゐることが如何に低級で愚劣であるかといふことを感ぜずにはゐられない。專門の映畫批評家の映畫評も時々讀んで見るが映畫の中に頭を突つ込んでしまつた近視眼的、盲目的「批評」は自分らには分らない。專門語や術語を並べ難解な文辭を弄して結局映畫そのものに對して何を言つてゐるのか摑むことすら自分には困難である。文學家の情緒的批評、音樂家の音樂的批評、畫家の繪畫的批評そんなものは、映畫に對する批評の基本的なものではなく、枝葉の、第二次的のものではないかと考へるその映畫が何を言つてゐるか即ちその映畫の内容、主張、この檢討が映畫批評の第一の問題で、その次がその内容、主張を如何によく、如何に上手に言つてゐるか、の技術の問題—即ちセンスや心理描寫の批評、リズムの批評、スタイルの批評であるのではなからうか。

自分は未だ淺學にして藝術なるものゝ本當の定義、本當の解釋を知らない。が自分で考へてゐる解釋としてはあらゆる藝術は人間の本當の相、人間は如何に生きなければならぬか、生きるのが正しいかといふことを示し、反省させるのが藝術の目的ではないかと思ふ。あらゆるものを見る正しい目、あらゆるものを感じる正しい感情、これを與へるのが藝術の任務ではなからうか。

そこで映畫も亦藝術である正しい戀愛を描け、正しい愛慾を描け、他人の細君に惚れてはいけない、人の妾と邪な戀愛をしてはいけない。未婚の娘と正しい戀愛をせよ、正しい結婚をして子供を産め殖せ。勤勉を描け、愛國心を描け。金を浪費して借金して人に迷惑をかけるのはよくない貯金をして自分の經濟を確立させよ。國を賣つたりするのは悪いことだ、悪政に苦しむ民は我が身を犠牲にしても救つてやらなくてはならぬ。

然しかうハッキリ書くと映畫は「忠孝美談」「勸善懲悪」になりさうだ。そこでこれだけのことをシッカリ頭に入れての上で初めて所謂「藝術的」なものが必要になつてくるのである。シナリオも、演出も、カメラも、編輯も現代人の感情と趣味と理解の程度にマッチして、情緒濃かく、變化に富み、スマートに體裁良く、つまり云はんとすることをよりよく通すやうに表情しなければならないのである

たまにしかあり得ないやうなトラブルが奇嬌な病的なセンスをまとうて現はれる——こんな後口の悪い、異常な興奮を覺えるやうな映畫、我々はもう見たくないのだ。やわらかいあたゝかな感情、悠久な美しい自然の風景、思はず襟を正すやうな力強い正義觀それから正しい性的興奮も亦人口増加、國力伸長の爲に大いにいゝではないか。放言多謝。（二・一三）

投書中傷不認可

滿系警官の暴擧

僕は新京日日新聞の愛讀者である、貴社の力に依つて〇〇したい。

昨二十九日、滿人の煙突掃除夫の谷賢成なる者が僕の家の勝手へヒョックリ現はれ、ビール一本と東洋釀造會社製の源氏一本を進上してくれた、原因は、一週間程前彼氏が悽愴な顏をして突然僕を訪れた今三道街で滿系警士の爲め撲ぐられたゝ顏面には二條の血を引いて哀號してゐる。頗る昂奮してゐるので段々落ち着かせて聞いて見るゝ何んでも本年二月二十日に日本人から自轉車を買つた、無鑑札で乘り廻した、手續しなかつたは惡い、罰金は出すが撲ぐられたのは心外だ、自轉車は警察に取られた、大人の力で取り返してくれとの哀願なのだ。日本人から買つたと抗辯したのが滿系警士を昂奮させた樣に窺はれた、そして何人にも賴む務りがないから、僕の庭へ來たのだゝ云ふ、日本大人解決して吳れと云ふのである日滿交親善緊密の今日、聞き捨てにならぬ、早速所轄警察署へ同道して、ありの儘を話し諒解を得た、所轄署では早速檢擧署へ電話して自轉車返却と正規の鑑札を受ける事に決められた。

其の翌日である、彼氏勇躍檢擧署へ出頭し日系大官に會つて懇說なる訓篤を受け「謝々」と歸途に付いた、勿論自轉車携行の上、街道へ出ると待てと一喝忽ち嵐が來た、昨日檢擧の滿系警士を先達に三、四の僚友とで追掛けて來て會釋なく撲つたとのこと僕の處へ轉げ込んで來た時は上衣は破れ足腰が不自由であつた、藥を與へ空腹を滿たさせ事情を聽取した、撲ぐられたが悔やしいから自殺するとウメク、やつとなだめて歸した、此の聞き取りには或る滿系の警士に立ち會つて貰つた。

日本人を賴む事とか、日本人から物を買つたとかで斯樣な結果を齎らすはドンナものかと思はれる、イヤ尠なからず懸念である、大きな事が起りはせぬかと治療後折角の話しのある今警察に斯かる事實の存する事は其起因するところが那邊かと心配に堪へぬ、一事が萬事だ、日滿親善の今日弱い者には職のないものには王道樂土の地に頗る憂慮に堪へぬものがある、貴社よ邦家の爲に乞ふ、政府當路者と談合して將來名實共に樂土たるに仕向ける樣御努力を乞ひ度い。若芽にして苅らずんば假令もある。

僕は煙突子に多少僕が示した同情に對し謝禮せる苦情に感じ且つこれに酬い樣と思つてゐるが餘りに懸け離れてゐる滿系警士の自制反省を望むと共に政府の考慮を促がすものである(南關子)

新京觀光バス試乘記 (1)
旅は道伴れ…… 麗はしきガイドと

永い滿洲の冬も既に遠く過ぎ去つて、春となつた、陰氣な灰色の冬の空は何處にか姿を消して、明るい柔らかな春の陽光が無限の愛をもつて大地を包み、自然を愛撫するとき幾多無限の生命が再び息を吹き返して蘇生或は新しく創造されて行くのだ、春雨を吸つた若草は掩はれた干草を押しのけて芽を出した、木の芽もふつくらとふくらんで、氣の故か木立の幹も青みを帶びて活々とみえる、新しき土の建設に從事する入滿苦力の群は驛頭に雜沓し力強き建設行進曲を奏でる、シユーパーを脫いだ、オーバーも脫ぎ捨てたスプリングに着換へて春着が街頭に目立つ春だ、春は猛烈なスピードをもつて夏に突進してゐる、木の芽もないまだ灰色の土だ、物足らぬ然し底知れない蒼空は無限のひろがりをみせてゐる、澄み切つた空氣、強くなつた光線これが滿洲の、新京の春だ、木の芽が出て野つ原が蒼くなつてホーッと人々が一息ついてゐると、精神の弛緩狀態に乘じて短い酣の春はすーつと行き過ぎて初夏となる

◇ ◇ ◇

例年の如く新京驛は押しかける觀光客で賑つて來た、驛もビユーローも觀光協會も轉手古舞だ、各地からの觀光團の申込で旅館も今年は相變らずの豐年らしい、この本格的觀光シーズンを前に控へて新京交通會社の觀光バスは四月一日より運行を開始することになつた、內地から或は全滿各地からの觀光客が三時間だけバスの人となつて輝かしい皇軍活躍の跡を物語る寬城子南嶺の戰跡に杖を運び、新らしいバスの中の柔らかなクッションに腰を下して眠氣を催す樣な緩慢なバウンドに身をゆだねて窓外に展開する躍進國都の現狀に目をみはるのも良からう、或は永く新京に住んでゐる人が、機會がなくて未だ國都の全貌に接してゐない人々が半日の餘暇を得て吾等の國都をみ直すことも有意義であらう

◇ ◇ ◇

新京交通會社並びに觀光協會では共同主催でもつてバスが運行開始する前、三月下旬或る一日關係者を招きこれが試乘會を催した一時ビユーロー前を定時に出發することゝなつてゐる、やがて定刻大通の工場で製造されたといふスマートなバスのボデーは靜かに驛前を滑り出し、春日午下りの柔らかなとけ込む樣な光線を一杯に反射させつゝ中央通に向つた「皆樣諺にも申します通り旅は道づれ世は情とか申します、これから皆樣と半日の行樂を共にさして頂きます。先づこの車が通つてゐます坦々たる舖道は國都のメーンストリートは中央通その先は大同大街と申しまして右の建物か新京滿鐵支社、附屬地行政權移讓前迄附屬地行政の中心でありました、それから左の森の中の建物は大和ホテルでありまして、向ふのクリーム色の屋根は……」若鮎の樣に潑剌としたガイド孃がなめらかな口調で說明する。窓外から流れ込む春風と共にとけ合つて心良く耳に響く、何時の間に敎へ込んだか仲々うまいものだ、全然素人からこゝ迄敎育するには相當に骨の折れたことゝ思ふ

◇ ◇ ◇

自動車は緩やかに疾走を續ける中央通兩側に立ち並ぶいろ〳〵な建物の說明をしてゐる裡に神社前に來た、普通ならばこゝで降りて參拜するところだが今日は試乘會だから車上禮拜の後車を進める、全滿一の設備といはれてゐる西公園を右手に望み、左に頭道溝の埋立地を望み乍ら南下する二年前迄大きな溝があつたのが今では全部埋めつくされ商店、アパート等がぼつ〳〵建築されてゐるのが見える、一年後には又どんなに變るだらう等と想像してゐる裡に「皆樣右手に見えますあのお城風の輝かしき建物こそ吾が關東軍司令部であります、館頭高く炳として煌いてゐる菊花御紋章の尊さ、東洋平和確保の大號令は實にこゝから發せられるのであります……」ガイド孃が關東軍の歷史を說明してゐる間に緩くロータリを一廻りしたバスは忠靈塔に向つた、申す迄もなく吾が忠勇なる勇士の靈を祀る忠靈塔である、白菊小學校や靜かな住宅街の中に綿をちぎつて捨てた樣な白雲を衝いて衝然とそびえ出つてゐる、地下の英靈もこの和やかな小春日和に午睡を樂しんでゐることであらうか。(杉山生)

奉天舊附屬地水道 百キロを改修 市公署が明春着手

奉天舊附屬地の水道は去る明治四十二年頃の建設にかゝりその後人口增加とゝもに漸次延長されたもので、給水管の腐蝕甚しく年々多額の修理費を要するので、奉天市當局では今回これが根本的修理に乘出すべく目下具體策を考究中であるが、大體經費卅萬圓、三ケ年計畫をもつて明春より舊附屬地內給水管總延長百キロにおよぶ大々的改修工事に着手することになつた

奉天市水道料金 十月から改正か 一元的經營に調整

行政權移讓に伴ひ一日一萬五千トンの上水を使用する奉天舊附屬地の滿鐵水道は水源池を除くほかは全部奉天市へ移讓、市公署水道料の手で城內側水道とゝもに一元的に經營されることゝなり、舊附屬地ならびに城內側水道給水規則の統一調整がかねてより市當局當面の問題として鋭意研究されつゝあつたが市民負擔への急激な變動は極力避ける方針の下に從來附屬地側工業用水ならびに城內側專用給水料金に對し比較的低廉であつた附屬地側專用給水料金をトン當り二錢方引上げるとゝもに城內側專用水は三錢方引下げを斷行、結局双方とも同率のトン當り十二錢といふ新料金制を採用するに決した模樣で市當局では右料金を更に愼重檢討の上給水規則中の手數料引込料罰則等各項にわたる改正とゝもに本年十月一日より實施に移す豫定である、しかして右料金改正により全市一ケ年の給水收入六十四萬圓に對し四萬圓程度の增收を豫想されてゐるが、右增收分は擧げて舊附屬地の給水管改設工事費にあて舊附屬地在住市民への給水に萬全を期する方針である

安全農村建設 覺書正式調印

【京城國通】總督府では昨秋來舊冀東政府管內の蘇河沿岸に安全農村建設を企圖し、總經費百二十萬圓を計上して面積三千五百町步の土地に一千戶を收容することゝし東拓に代行せしめてこれが具體的準備を進めつゝあつたが、此程土地の買收その他諸準備完了したので卅一日天津總領事館において總督府と總領事館ならびに中國臨時政府との間に右安全農村建設に關する覺書の正式調印が行はれた

房產會社披露宴

滿洲房產株式會社は一日午後六時半から新京ヤマトホテルで日滿各界の代表百數十名を招待披露を行つたが宴酣なる頃理事長謝介石、副理事長山田茂二兩氏滿日語で挨拶と各理事の紹介があり之に對し來賓を代表して張國務總理謝辭を述べ會社の前途を祝福し乾盃を交はし盛宴であつた

初めて見る母國の姿 總て感激と驚異
下關—別府 (敷島高女三學年旅行團) 第四信

女學校生活に於いて最も樂しきもの嬉しきものは修學旅行である、故鄕であり母國である祖國日本への修學旅行である。三月廿四日零時私達は其の待望の憧れの修學旅行が許され諸先生や父母に見送られて出發せんとしてゐる名狀し難き歡喜と希望と一時の別離の悲しさの裡に汽車は新京驛を離れた、奉天では忠靈塔參詣の後國立博物館、北陵同善堂を參觀した周代から淸朝にかけての滿洲文化の發達を物語る數千點の陳列品を有する國立博物館鬱蒼たる松林の中に滿朝の全盛時代を偲ばせる牌樓聳ゆる北陵、現世の哀れなる人々の救濟所であり慰籍となる同善堂等に深く心をうたれ乍ら釜山行列車に乘込んだのは廿四日の午後三時であつた安東驛通過の際は數多送迎の人々の中に江部前校長先生の姿も見うけられた一行を見送りの爲お出で下されたとのことである、朝鮮線の旅は單調であつた、次第に綠濃くなる草の色山間に點々とした簡單なる木造家屋、悠長とした服裝等うたゝ旅情をそゝるものがあつた。關釜連絡興安丸の航路は波靜かで一人の船醉者も出ず下關に上陸した、內地に第一歩を印したのは廿六日の午前八時十五分で定刻より一時間延着した。

關門連絡船は滿員で門司改札口は忙しさうであつた、北九州の工業地帶ではまづ工業日本の活氣を感じた「はたらく人入用」の看板、工場に田園に男子と伍して働く女性の勤務姿、壁間に揭げられた擧國一致の精神總動員ポスター出征兵士の家に翻がへる日章旗と幟、驛頭に拾ふ國防婦人會の活動振り、美しき自然波の色と青、野山の綠草木の花果實等始めてみる母國の姿は總て感激と驚異であつた。

× ×

博多驛で派手な服裝の松屋の樂隊部がラッパ大鼓の鳴物入りで迎へて吳れたのには驚いた、こゝで東公園や龜山上皇日蓮上人の銅像を參觀の後史上に有名な宮崎神宮に參詣した、神宮の前は海岸であつた岩壁に少憩の後海の空氣を滿喫して熊本行列車に乘り込んだ車中は滿員で暫らくはかける席もなく噂に聞く內地の車中風景を體驗した。熊本驛前の物產館に落着いたのは廿六日の夕刻であつた。食後市內見學をした旅行中の第一泊なので嬉しさで一杯であつた(阿部キミ子、坂根豐子記)

× ×

二十七日の朝七時頃私達は熊本城を參觀しに行つた。城は綻び初めた櫻の花に浮び出てゐた、矢張南國の春は早いと思つた。春雨のしと〳〵と降る中を坊中驛の汽車に乘り込んだ。坊中驛で六合のバスに乘つて阿蘇山へ登る途中の景色は惜しい事に靄が濃くてぼんやりとしか見る事が出來たかつた。

外輪はけむりて見えず春の雨。

中岳の麓の小屋で晝飯をいたゞき油紙を身につけて大火口へと登つて見ると千尋の谷からもう〳〵と立ち昇る白煙があたり一面をつゝんでゐる火口を恐る〳〵覗くと中から何者かが引づり込むやうな感じがした。

其の附近には硫黃の臭が鼻をつく私達は始めて見る此の大自然の力に暫く呆然として立竦んだ。爆發した時飛ばした大小無數の溶岩が此處彼處に見受けられた。阿蘇の噴煙に名殘を惜しみつゝ再びバスに乘つて坊中驛より別府に向ふ。車窓より眺められる竹林目も鮮かな黃色の菜の花、杉檜等の林等、いづれも田園の春を物語つてゐる。これ等は滿洲に眺める事の出來ない風景であつた。

別府では花菱旅館に落着いた。窓を開けると眼前には夜の海が美しく展開されその海面には麗しいネオンサインが照り映えて何ともいはれない良い眺であつた。旅館には「小倉陸軍病院別府轉地療養所」といふ看板が揭げられ百數千名の白衣傷兵の保養に當てられてゐる。溫泉場の春も矢張野戰病院の延長のやうに思はれて非常時日本の姿を見た

× ×

翌二十八日朝それ〴〵龜の井自動車に分乘してバスガールの美しい說明の聲を聞きながら地獄めぐりをした。八幡地獄、無間地獄、鶴見地獄、坊主地獄、海地獄はいづれも凄慘な光景を呈して居た。特に海地獄は澄んだお湯から底の青色がくつきりと見えて其の後方の櫻と、白煙のたち籠めてゐる有樣は配色の美を極めてゐた。又、血の池地獄は最も凄く血のやうな粘土が四邊を埋めてゐて地獄中の代表的なものであつた。別府は短い一夜ではあつたが何となく名殘惜しい氣がした。驛頭で思ひ懸けなくも堺田先生に面會して大變嬉しかつた。やがて出帆のドラが鳴らされた送る者と送られる者との間のテープは次第に切れて海底に沈んで行つた。くれない丸は靜かな波を蹴つて憧れの瀨戸內海へと出帆した(村上かほる、濱田礪子記)

畏し皇族各妃御差遣
陸海軍將兵御慰問
全國軍病院療養所へ

【東京國通】畏き邊りでは今次事變に際し傷病兵の上に深く御心を垂れさせ給ひ去月十五日全國陸海軍病院療養所百九十ヶ所へ皇族各妃殿下御差遣の旨仰出されたが、御差遣の妃殿下は御十一方、十二方面でうち東京府、神奈川、千葉、埼玉各縣所在の第一陸軍病院外二十二ヶ所には御日歸りにて四月下旬から五月にかけて各妃殿下を隨時御差遣遊ばされる趣きで左の如く一日宮內省から發表された

賀陽宮妃殿下—北海道方面
李王妃殿下—岩手、青森、秋田、新潟方面
北白川宮大妃殿下—宮城、福島方面
東久邇宮妃殿下—栃木、茨城方面
伏見若宮妃殿下—靜岡、愛知、岐阜方面
竹田宮妃殿下—北陸、長野山梨方面
東伏見宮妃殿下—奈良、和歌山、滋賀、京都、大阪方面
東久邇宮妃殿下—兵庫、鳥取、島根方面
竹田宮大妃殿下—山口、廣島、岡山方面
閑院若宮妃殿下—四國方面
梨本宮妃殿下—福岡、佐賀大分方面
久邇宮大妃殿下、長崎、熊本、宮崎、鹿兒島方面

各妃殿下は傷兵御慰問の傍ら各縣廳にも御立寄の上、銃後の施設等についても御目をとゞめさせられ親しく御視察遊ばされるもので、限りなき有難さ誠に恐懼の至りである

何と新夫婦が八組
神樣も手不足！
メデタメデタで國都の春展く
重さなる市中の催物
旗日で大安

春の滿艦飾三日は神武天皇祭と日曜が重なり本社主催第二回全新京武道大會を始め種々の催しや飛行協會練習機命名式に滿洲國防婦人會發會式で市內は人出で埋まることであらう、しかも此の日は乙丑大安なので今年建築にかゝる所の地鎮祭や神前結婚で新京神社は大賑はひ、時間の繰合せが付かず大困りの狀態で此の日の式典だけはどうしても定刻までに集つて貰ひたいとの話である、先づ午前八時三十分神武天皇祭遙拜式に始まり同九時三十分「新京小學校教育會」結成奉告式に次いで結婚式が八組に地鎮祭に出張が四組、その上前記飛行機命名式にも行かねばならぬといふ有樣である、人生の新しい出發をする結婚式は午前十一時から前日の二日に受付けたばかりの曙町の渡邊家を始めとして一時間おきに左の如く行はれる

▲正午より中央通鈴木英二氏（廿八）と五馬路原おはりさん（廿六）
▲午後一時より羽衣町二丁目中江勇雄氏（廿七）と建國胡同吉田勇子さん（廿四）
▲午後二時より山西勉氏（廿六）と小山加壽子さん（廿一）
▲午後三時より齊々哈爾榎本護氏（廿八）と大連栗原こうさん（廿四）
▲午後四時より奉天高橋秀雄氏（廿七）と哈市橋本靜枝さん（廿二）
▲午後五時より千早町三丁目橋口厚義氏（廿七）と滿鐵醫院鹽足節香さん（廿四）
▲午後六時より梅ケ枝町久田富義氏（廿四）と鐵嶺西岡美子さん（廿二）

日滿の契彌榮
彗生姫も御健かに
早くも一周年記念

日滿親善の契として兩國民歡びの中に晴れの御結婚式を擧げられた皇帝御弟君溥傑上尉浩夫人は四月三日神武天皇祭の佳節早くも一周年記念日を迎へられ益々御仲睦じく、去る二月二十六日浩夫人の御慶事も目出度御長女彗生姫を御安產遊ばされ御兩親の御鍾愛の中に御出生後まる三十三日の四月二日御結婚滿一周年並に姫御誕生記念に麗らかな日差しを受けた西萬壽大街の私邸に浩夫人は姫を御中心に脊の君とともに最初の記念撮影を遊ばされた【寫眞は御睦まじく御團欒の御三方】

"北支は治安工作まで完全に行き届く"
北支實業視察團二日來京

朝日新聞主催北支實業視察團一行は同社取締役高原操氏團長となり北支經濟狀況を詳さに視察したる後二日午後六時廿分着「あじあ」で在京新聞關係者多數の出迎を受け賑かに來京元氣一杯で滿蒙ホテル及中央ホテルに分宿したが車中往訪の記者に對し高原團長ほか團員は左の如く感想を語る

北支各地を視察して最も感じたことは皇軍將兵の活動で事變後の治安工作が完全にまで行屆いてゐることには驚いた、皇軍將士の苦勞も實に感謝に堪へなかつた然し經濟工作が着々と進捗してゐるのをみて今後の發展に期待するところが大きい、しかし滿洲に足を一步踏込んで痛感したことは滿洲國の政治が津々浦々まで浸透しつゝあるといふことで素晴らしい「あじあ」など內地では經驗出來ぬ心地だ、吾々は五ケ年を經て斯くも偉大なる發展を遂げたことを新に認識し商品市場としての滿洲を大いに研究し商品の進出を圖る【寫眞は驛着の一行】

中央通署交通取締
今曉零時一齊施行

中央通署保安係では管下の交通取締りの萬全を期するため三日午前零時を期して保安係及外勤總動員の下に管內に於ける無免許運轉手の一齊取締りを實施した

頭道溝問題行き惱む
四日全體會議

新京頭道溝埋立地建築に就ては新京有數の土地柄だけにその實現如何は各方面より異狀の興味を以つて迎へられてゐたが事實はこれに反して殆んど行惱み狀態で土地借受人側に於ては工事期に入り何とか打開策を講ぜんと過般建設委員會總務班長以下委員集合種々協議の結果同日午後一時から滿鐵新京支社三階會議室にて借受人全體會議を行ふことに決定各借受人に對してはそれぞれ通知狀を差出したが當日は全借受人洩れなく出席するやう希望されてゐる、なほ當日の主なる協議事項は左の如くである

一、頭道溝建設委員會の存續問題に關する件
二、市場會社に關する件
三、該埋立地を飽くまで商店街として進むべきか如何
四、建設委員會に於て作製せし建築規程に準據して改正すべき點なきや首都警察の建築取締規則との比較對照の必要より
五、其他雜件

勝手知つたる家の中
井上氏御難

入舟町一丁目一井上正氏は二日午前五時から九時までの間に家人不在中表戶施錠を破壞侵中した賊に無盡通帳掛金千圓、三百八十圓の郵便貯金通帳並現金十圓、洋服その他衣類時價四、五十圓在中の赤革製トランク一個を竊取され中央通警察署に屆出た

鮎川總裁放送延期

三日午後一時よりの鮎川滿業總裁の放送は都合に依り延期代つて佐藤膽齋氏の「鄭孝胥先生の王道要説」を放送することとなつた

選拔野球
准々決勝成績

全國中等選拔野球二日（第六日目）の成績左の如し
▲甲陽中學0—3A岐阜商業
▲明石中學0—4海南中學
▲東邦商業5—3浪花商業

事務所の關係から滿業の鮎川總裁時々氣輕にニッケバーラーに降りギャラリーで買物をする▲その買物がナカナカ目がきいてゐて普通人なら見逃す樣な舶來物を掘り出す▲やつぱり滿洲國を明るくする人だけあつて、村長さんの樣な風態はして居れどとは村山支配人の讚辭……

天氣と氣溫
けふの天氣　北西の風稍強く晴れ時々曇り
きのふの溫度　最高一七度六　最低三度四

スピード四十分檢擧
中央通署凱歌
滿人東公園の慘劇

金に目のくらんだ男が親友を滅多切りにして千餘圓を強奪せんとした犯人が中央通署のハリキリ司法陣に依つて僅か四十分にして擧げられスピード檢擧の新記錄を樹立し中央通署に凱歌が擧つた—原籍吉林省永吉縣第六區大泡子李永德（四二）並びに原籍龍江省大賚縣西門裡王忠志（三九）は同業の馬買業者で數日前より商賣の爲來京驛前福順棧に投宿してゐたが二日午後五時頃王は親友李の所持金を強奪の目的をもつて菜切庖丁及びハンマーの殺入道具を市中で買ふため何食はぬ顏で李を東公園に誘ひ出し突然頭部及頸部を滅多切りにし瀕死の重傷を負はせて千餘圓の所持金を強奪せんとしたが果さずそのまゝ逃走したが東公園入口に重傷を負つて倒れてゐた李は間もなく通行人に依つて發見され急報に接した中央通署は直ちにこの旨本廳に通絡し全市に警戒網を張り、九時四十分頃王が何食はぬ顏で前記福順棧に歸つて來たところを張り込み中の刑事隊に何なく逮捕され新京署に連行取調べの結果犯行一切を自白するに至つた、尚被害者李は直ちに室町中市醫院に收容手當を加へたが全くの瀕死で絶命するのではないかとみられてゐる【寫眞は犯人李永德】

頑張れ！中央郵政局
郵政保險思想普及に大童
一日から總動員街頭進出

新京中央郵政局では移譲以來諸般の整備にあたり着々成果を收めてゐるが四月一日から郵政保險思想の普及發達のため局員總動員にて一日から街頭に進出一大運動を開始した郵政保險は政府の社會政策上非營利的に設けられたもので其の大綱は日本の簡易保險に範をとり昨年十一月から實施したもので日尚淺きにかゝわらず豫期以上の好果を收めつゝあり一般民衆の生活安定福利增進更に保險を通じて民族協和をはからんとするもので日滿人を問はず奮つて加入されんことを望んでゐるなほ中央郵政局の受持ち口數は一萬五千口である本週間中に少くとも六千口を獲得せんと局員は異狀な緊張を見せてゐる

武藤能婦子刀自
滯滿日程

滿洲國防婦人會の發會式に參列のため來京ゝ大日本國防婦人會々長武藤能婦子刀自の滯滿日程は左の通りである
△三日　午後一時滿洲國防婦人會發會式參列
△四日　午前十時ラヂオ放送の後正午より日滿軍人會館にて日滿婦人と共に會食、午後三時廿分新京驛發午後八時四十分哈爾濱着
△五日　午前十時卅分より國防婦人會幹部と會見後午後一時より忠靈塔參拜及び市內を見學し、午後十一時卅分哈爾濱發奉天に赴く
△六日　午後零時廿八分奉天着、午後一時より忠靈塔參拜、戰跡及び市中見學
△七日　午前十時卅分國防婦人會幹部と會見後午後五時四十五分奉天發、午後十時卅分大連着
△八日　大連及び旅順忠靈塔參拜
△九日　懇談
△十日　午前十一時大連發
△十三日　早朝神戶着、午後五時廿分東京着の豫定

特別志願兵制度に就て
—在滿大使館當局談—

在滿日本帝國大使館に於ては陸軍特別志願兵問題に付當局談の形式を以て次の通り發表した

一、特別志願兵制度制定の理由

本年二月二十二日勅令第九十五號を以て陸軍特別志願兵令公布せられ「戶籍法の適用を受けざる年齡十七年以上の帝國臣民たる男子にして陸軍の兵役に服することを志願する者は陸軍大臣の定むる所に依り銓衡の上現役又は第一補充兵役に編入することを得」尙右の「現役又は第一補充兵役に編入せられたる者の兵役に關しては陸軍大臣の特に定むる場合を除く外兵役法の定むる所に依り現役兵又は第一補充兵として徵集せられたる者の兵役に同じ」と規定せられて居る即ち現役兵又は第一補充兵として採用せられたる以後に於ては戶籍法の適用せられたる帝國臣民の兵役に服する權利及義務と全く同一なのである

抑之の陸軍特別志願兵制度は一般民衆の要望や運動に依りて實現したものでなく又動員要員の不足に基くものでもない、即ち專ら今次の日支事變等に示されたる朝鮮人の愛國心の發露に鑑み眞に皇國臣民たるの實を備へ國防の一端を分荷せしむるを適當とするに至りたるものと認めた結果に外ならぬ從つて本制度の實施は徵兵制度の施行又は參政權の附與等とは自ら別箇の問題に屬し何等本制度と關聯するものでないことを明言して置く

二、特別志願兵の年齡

特別志願兵の「年齡十七年以上」とあるは兵役編入を志願する年の十二月一日に於ける年齡を指稱するものである

採年齡に就ては最底年齡を示したのみで最高年齡を押へて居らぬが兵役編入後餘りに年齡、體格、思想等に差異あるときは徵兵に依る內地人に伍し團體訓練を行ふ上に於て支障を生ずる虞れあるから大體內地人入營者の年齡と同樣滿二十歲を標準として取扱つて行く方針である

三、特別志願兵採用方針

特別志願兵の銓衡は單に願書を提出したる者のみに付ての銓衡に止めず他に適任者あるときは之に對し積極的に勸奬を爲し全般に亘り適格者を銓衡する尙青年訓練所等規律ある團體の訓練を經たる者を優位に置く

四、特別志願兵訓練所

特別志願兵として陸軍の現役又は第一補充兵役に編入せられ得べき者は體格等位甲種（兵役法施行令第六十八條の規定に依る）身長一六〇米以上にして朝鮮總督府陸軍特別志願兵訓練所（以下訓練所と稱す）の課程を終了し又は終了し得べき見込の者に限定せられる即ち特別志願兵は順序として訓練所に入所するを先決問題とする所以である以下訓練所を說明する

（イ）訓練所の訓練期間は概ね六ケ月とし訓練項目は訓育、普通學科及術科である其の詳細の說明は玆に省略する
（ロ）志願兵の入所期は每年六月（本年は六月十五日の豫定）及十二月の二回になつてゐる
（ハ）志願兵訓練所生徒は原則として所內に宿泊せしむる
（ニ）其の他の訓練所に關する規定の詳細は爰に記載を省略する

五、出願手續

1、訓練所に對する出願
（イ）出願期日は每年二月十日になつてゐるが本年に限り四月十日迄とする
（ロ）提出書類は左の通りである
（A）志願兵訓練所入所願（樣式別紙）（B）履歷書（樣式別紙）（C）本籍地又は住所地所轄府尹、邑面長滿洲に在りては領事の保證書（樣式別紙）（D）公醫、官公立病院の醫師の作成せる體格檢查表（樣式別紙）但し公醫又は官公立病院なき地方に於ては有資格者たる醫師の作成せる體格檢查表で差支ない（E）戶籍抄本

2、志願兵としての出願
（イ）出願期日は四月三十日迄であるが訓練所に提出するものと同時（四月十日迄）に提出する方取扱上便宜である
（ロ）提出書類左の通り
（A）陸軍特別志願兵令に依る服役願（樣式別紙）
（B）戶籍抄本

3、書類提出先
一件書類は本籍地所轄警察署長に提出するのである

六、本年度志願兵採用數

本年度は現役として三百名第一補充兵として百名計四百名を採用することになつてゐる

七、訓練所採用數

訓練所に於ても同樣四百名を採用し前期及後期の二期に分割して收容する

八、採用條件

1、訓練所生徒は左の各號に該當し本籍所轄道知事の推薦したる者より選拔採用する
（イ）年齡十七年以上の者（ロ）身長一、六〇米以上にして陸軍身體檢查規則の規定に依る體格等位甲種の者（ハ）思想堅固にして體軀强健なる者（ニ）修業年限六年の小學校を卒業したる者若は之と同等以上の學力ある者（ホ）行狀方正にして禁錮以上の刑に處せられたることなき者（ヘ）入所及服役中一家の生計並に家事に支障なき者

2、左の各號の一に該當する者は採用せられない
（イ）妻ある者（ロ）破產者にして復權を得ざる者（ハ）親權を行ふ者若は後見人にして前號の事由ある者（ニ）罰金刑以下の刑に處せられたる者と雖其の所犯志願兵として不適當と認むる者

九、滿洲に於ける取扱官署

本件は本人に於て必要なる書類を取揃へ直接其の本籍地を管轄する警察署長に提出するのが原則であるが在滿朝鮮人は其の居住地を管轄する領事官に保證書を作つて貰はなければ書類が完備しない爲且は特別志願兵制度設定に對し熾烈なる熱意を有する在滿朝鮮人の願意を達成させたい爲在滿領事館兵事員に於て取扱ふことゝした次第である

義人長七郎

(浪上演映畫化) 中川雨之助 竹花一郎畫

(二百十)

心の暴風 (四)

「可哀さうに、妹さんも殺されたんだらうかねえ。美しい娘だつたに、惜いことさ」

なぞと、一同が、空家の前にかたまつて、わい〳〵言つてゐると、そこへ、ぶらりと這入つて來た女がある。

誰かと思つたらお銀です。

軍平が、香鳥に優しくしたといつて、腰に紙を廻し、プリ〳〵怒つて、黒鴨の幻龍庵を飛出したのは、今朝といつても、まだ人の顔もわからぬ薄暗い頃。

腹立ちまぎれに、あれから、的もなく歩き廻つてゐるうちに、だん〳〵夜が明けて來る。そして、自然に、やきもち坂の方へ、足が向いて居たのです。

長屋へ來ると、何喰はぬ顔で、みんなのそばへ、近づいて行つて、

「みなさん、お早うございます」

と、心やすさうに挨拶をしました。

昨夜一睡もしないので、血色もよくないし、髪も亂れてはゐるが、しかし、いつ見ても、凄味のある好い女です。

「へい、お早うございます」と、誰か、返辭をしたものはあつたが、一向に見たことの無い顔です。

その上、武家屋敷の多い、山の手のこの界隈では、ふだんあまり見かけたことの無い、傳法肌の小粋な女が、突然艶々しく現はれて來たので、一同はツッと、不思議の目を見交してゐます。

實は、よそながら、英之助の様子を探りたい肚でやつて來たのです。だから、それとなく、皮の鞘へ、紙を配りながら。」

「もし、ちよつとおたづねしますが、このの家に、なにか變つたことでも出來たのでせうか」

といつて訊くと、摑み出たのが大家の隠居です。

「なに、兄妹がゐなくなると、溜つた店賃の賃は、いやでも棒引にしなければならない。誰でもいゝ由緒のある者でも來たら、つかまへて、拂はせてくれよう、といふ所謂家主根性から、お銀を、好い鴨とでも思つたらしいのです。

「おまいさんは、こゝの御浪人の兄妹とは知り合か、それとも、なにか縁故のある人なんですかい？」

「いゝえ、別に、縁故といふほどではないが。香鳥さんとは、以前から、心やすく暮してゐたものだから……」と、口から出まかせにいゝ加減なことを言ひます。

「あ、さう〳〵妹さんの名は香鳥さん。それに違ひない……しかしおまいさんが、あの娘さんのお友達で……へえ、さうかねえ」

おとなしい武家娘の香鳥と、傳法なお銀との配合が、いかにも不釣合なので大家の隠居は、腑に落ちない、といつた顔をして、額に皺のあるお銀の顔を、ヂロ〳〵と見返しながら、

「それぢや、おまいさんは、まだなんにも知らないんですね」

「え、知らないとおつしやるのは……？」

「香鳥さんといふ、その妹さんが昨夜、誰かに、さらはれてしまつてね。それで長屋中が、かうして大騒ぎをして居るんですよ」

「えッ。香鳥さんが浚はれて……まあ……」

仰山らしく驚いてみせます。

お銀、なか〳〵芝居がうまい。

「そして、香鳥さんを、さらつて行つたのは、何處の何といふ奴か、それがわかつて居るんですか」

お銀は、心配らしく、また口惜さうに表情たつぷりで訊くので、なにしろ、誘拐者の本人が、……？といつて訊いてゐるのだから、これは間違ひツこはありません。